

R 2 宮繕 池田高等学校 三・池田
特別教室棟改修工事建築

課 長	副課長	課長補佐	課長補佐	係 長	課 員	担 当

図 面 目 録

図面番号	図 面 名 称	図面番号	図 面 名 称
特－０１	建築改修工事仕様書（１）	A－４１	展開図（２階、３階廊下）（１）
特－０２	建築改修工事仕様書（２）	A－４２	展開図（２階、３階廊下）（２）
特－０３	建築改修工事仕様書（３）	A－４３	展開図（２階、３階廊下）（３）
特－０４	建築改修工事仕様書（４）	A－４４	展開図（４階廊下）（１）
特－０５	建築改修工事仕様書（５）	A－４５	展開図（４階廊下）（２）
特－０６	建築改修工事仕様書（６）	A－４６	展開図（階段室0-P間）（１）
特－０７	建築改修工事仕様書（７）	A－４７	展開図（階段室0-P間）（２）
A－０１	付近見取図、配置図、仮設計画参考図	A－４８	展開図（階段室E-F間）（１）
A－０２	概略工事工程表	A－４９	展開図（階段室E-F間）（２）
A－０３	仕上表（１）	A－５０	１階・２階 建具配置図（改修前）
A－０４	仕上表（２）	A－５１	３階・４階・ＰＨ階 建具配置図（改修前）
A－０５	１階、２階平面図（支障物件確認図）	A－５２	建具表（改修前）（１）
A－０６	３階、４階平面図	A－５３	建具表（改修前）（２）
A－０７	R階、ＰＨ階、ＰＨR階平面図	A－５４	建具表（改修前）（３）
A－０８	北、東立面図	A－５５	１階・２階 建具配置図（改修後）
A－０９	南、西立面図	A－５６	３階・４階・ＰＨ階 建具配置図（改修後）
A－１０	１階平面詳細図（１）	A－５７	建具表（改修後）（１）
A－１１	１階平面詳細図（２）	A－５８	建具表（改修後）（２）
A－１２	２階平面詳細図（１）	A－５９	家具図（１）
A－１３	２階平面詳細図（２）	A－６０	家具図（２）
A－１４	３階平面詳細図（１）	A－６１	家具図（３）
A－１５	３階平面詳細図（２）	A－６２	１階便所平面詳細図
A－１６	４階平面詳細図（１）	A－６３	２階便所平面詳細図
A－１７	４階平面詳細図（２）	A－６４	３階便所平面詳細図
A－１８	R、ＰＨ階平面詳細図（１）	A－６５	４階便所平面詳細図
A－１９	R、ＰＨ階平面詳細図（２）	A－６６	便所展開図（改修前）（１）
A－２０	ＰＨR階平面詳細図	A－６７	便所展開図（改修前）（２）
A－２１	１階天井伏図	A－６８	便所展開図（改修後）（１）
A－２２	２階天井伏図	A－６９	便所展開図（改修後）（２）
A－２３	３階天井伏図		
A－２４	４階天井伏図		
A－２５	ＰＨ階天井伏図	S－０１	鉄骨構造基準図（１）
A－２６	矩計図	S－０２	鉄骨構造基準図（２）
A－２７	屋外階段詳細図（１）	S－０３	鉄骨構造基準図（３）
A－２８	屋外階段詳細図（２）	S－０４	鉄骨構造基準図（４）
A－２９	各部詳細図（１）	S－０５	ベースパック（Ⅰ型）柱脚工法設計施工標準図
A－３０	各部詳細図（２）	S－０６	屋外階段基礎伏図・リスト関係他
A－３１	各部詳細図（３）	S－０７	屋外階段伏図・軸組図
A－３２	各部詳細図（４）	S－０８	屋外階段架構詳細図
A－３３	各部詳細図（５）	S－０９	屋外階段詳細図
A－３４	展開図（改修後）（１）		
A－３５	展開図（改修後）（２）		
A－３６	展開図（改修後）（３）		
A－３７	展開図（改修後）（４）		
A－３８	展開図（改修後）（５）		
A－３９	展開図（１階廊下）（１）		
A－４０	展開図（１階廊下）（２）		

徳島県土木整備部営繕課

●工事名 R 2 営繕 池田高等学校
三・池田 特別教室棟改修工事建築
●図面名 図面リスト

●図面番号 ---
●縮尺 ---

 株式会社 宮 建 築 設 計
MIYA 会社
管理建築士 1級00947号 宮本 博
1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号
徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)

I. 工事概要

1. 工事名称	R 2 営繕 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築
2. 工事場所	徳島県三好市池田町ウエノ283番地
3. 敷地面積	****m2
4. 工事種目	工事内容：外壁改修、防水改修、建具改修、内装改修 構造規模：建築面積：806.469m2、延べ床面積：3,286.126m2、鉄筋コンクリ造 4 階建
5. 工 期	工事完成年月日は令和 年 月 日とする。 ※完成年月日＝発注者側の工期の完成日 竣工年月日＝施工者側の完成日

II. 建築工事仕様書

1章 一般共通事項	
項 目	特 記 事 項
① 適用基準等	◎図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通大臣官房官庁営繕部監修の下記による。 ①公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）平成31年版（以下「改標仕」という。） ②公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（平成31年版）（以下「標仕」という。） ③公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（平成31年版） ④公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）（平成31年版） ◎本工事のうち電気工事及び管工事について、下請業者を使用する場合は、工事の施工に十分な能力と経験を有したものを選定すること。 ◎設計図書の優先順位は、次の順とする。 (1) 質問回答書（2）から（5）に対するもの (2) 補足説明書 (3) 特記仕様書 (4) 図面 (5) 公共建築改修工事標準仕様書（平成31年版）等 ◎施工条件は次による。 ・授業に影響するような騒音・振動が発生する工事は、基本的に土曜日、祝日及び長期休暇に行うこと。 ・工事工程については事前に学校・監督員との調整の上決定する。 ・工事車両等の配置及び経路は、日・時により制限があるので事前に打合せを行うものとする。 ・工事着手前に設備配管等を十分に調査し支障のある場合は関係者に連絡をして適切な処理をすること。 ・本工事に支障ある植栽は場外移植として仮撤去をし、工事完了後元に移植する。 ・階段廻りの改修工事は、長期休暇期間に行うものとする。 ・その他の詳細な施工条件については、実施工程表及び総合施工計画書の作成時に施設管理者と協議の上決定し、適宜相互に日程の調整及び確認を行う。 ◎本工事で使用する建設機械は、「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定（国土交通省告示 平成13年4月9日改正）」に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等、同規程 に基づき指定された建設機械であることが分かる写真を監督員に提出するものとする。 ただし、同規程に記載されていない機種、規格の建設機械により施工する場合はこの限りでない。 なお、同規程に基づき指定された建設機械を現場に供給するのが著しく困難な場合は、監督員と協議する。ただし、騒音規制法、徳島県公害防止条例等の関係法令を遵守するものとする。 ◎本工事に使用する土工機械は、「排出ガス対策型建設機械指定要領（平成3.10.8 建設省経機発第249号 最終改正 平成14.4.1 国総施第225号）」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械とする。ただし、排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明により評価された排出ガス浄化装置を装着することで排出ガス対策型建設機械と同等とみなすが、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。なお、排出ガス対策型建設機械あるいは排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は施工現場において使用する建設機械の全景及び型番等が分かる写真を監督員に提出するものとする。 ◎本工事で使用する建設機械（労働安全衛生法により特定自主検査が義務づけられている建設機械）は、1年以内毎に1回特定自主検査を実施済みの機械を使用し、その検査証明書（検査記録表）のコピーを施工工程の施工計画書に添付し提出すること。 ◎交通誘導警備員については、警備業法に基づく警備員とし、300日間配置すること。 ・本工事は、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号により規定された交通誘導警備業務を行う場所に一級又は二級の検定合格警備員の配置が（義務付けられている・ 義務付けられていない）。 ・警備員は、延300人（昼300人、夜0人：うち検定合格警備員0人）を見込んでいる。 ・警備業法を遵守するとともに、受注者は交通誘導警備員の配置計画書及び合格証明書の写し等資格要件の確認ができる資料を事前に監督員へ提出すること。 ・配置された検定合格警備員は、業務に従事している間は合格証明書を携帯し、かつ、監督員等の請求があるときは、これを提示すること。 ・受注者は、発注者が行う交通誘導警備員勤務実績調査の実施に協力しなければならない。また、対象工事の一部について下請負契約を締結する場合は、当該下請負工事の受注者（当該下請負工事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。）も同様の義務を負う旨を定めなければならない。 ・受注者は、「交通誘導警備員勤務実績報告書」を作成し、勤務実績が確認できる資料（勤務伝票の写し）とともに、1月毎に監督員へ1部提出しなければならない。

項 目	特 記 事 項
② 工事関係図書	◎受注者は、本工事の一部を下請に付する場合には、徳島県内に主たる営業所を有するものの中から優先して選定するように努めなければならない。なお、請負対象額（設計金額）が1億円以上の工事については、徳島県内に主たる営業所を有するもの以外と下請契約する場合に、県内業者を選定しない理由を記した理由書を事前に監督員に提出しなければならない。 ◎施工に先立ち、実施工程表、工事の総合計画をまとめた総合施工計画書及び工種別施工計画書を作成し、監督員に提出すること。 ◎上記の施工計画書には、「地下埋設物等の近接作業に関する事項」を設けること。 ◎施工図、現寸図、見本等は、監督員の指示により速やかに監督員に提出すること。 ◎工事関係図書及び監督員から指示された事項等については、施工に携わる下請負人にも十分周知徹底すること ◎工事現場における現場代理人、監理技術者、主任技術者の確認のため名札を着用すること。 名札には現場代理人、監理技術者、主任技術者の別、氏名、会社名、工事名を記載し、顔写真を添付すること ◎工事現場の安全衛生管理については、労働安全衛生法等関係法令に従って行うこと ◎工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、建設工事公衆災害防止対策要綱（平成5年1月12日 建設省建経発第1号）、建設副産物適正処理推進要綱（平成5年1月12日 建設省建経発第3号）その他関係法令に従い適切に処理すること。 ◎受注者は、工事の施工箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物について工事（仮囲い等仮設材設置を含む）着手までに調査を行い、「支障物件確認書」を監督員に提出し、監督員の確認を受けてから工事着手すること。 ◎地下埋設物への影響が予想される場所では、施工に先立ち、原則として試掘を行い、当該埋設物の種類、位置（平面・深さ）、規格、構造等を確認しなければならない。 ◎受注者は、工事箇所及びその周辺にある地上地下の既設構造物に対し、支障を及ぼさないような措置を施さなければならない。万一、損傷を与えた場合は、ただちに監督員に報告するとともに、施設の運営に支障がないよう 受注者の負担でその都度補修又は補償すること。 ◎受注者は、重量が100kg以上のものを貨物自動車に積み込む作業（ロープ掛けの作業及びシート掛けの作業を含む。）又は貨物自動車から卸す作業（ロープ解きの作業及びシート外しの作業を含む。）を行うときは、当該作業を指揮する者を定め、監督員に報告しなければならない。 ◎受注者は、機械等を貨物自動車に積み込む作業又は貨物自動車から卸す作業を行う場合は、当該作業を指揮する者を定め、指揮者の合図により行わなければならない。また、作業状況について、写真等の資料を整備及び保管し、監督員の請求があったときは、直ちに提示しなければならない。 ◎受注者は、輸送経路等において上空施設への接触事故を防止するため、重機回送時の高さ、移動式クレーンのブームの格納、ダンプトラックの架台の下ろし等について、走行前に複数の作業員により確認しなければならない。 ◎受注者は、移動式クレーンを使用する場合は、上空施設への接触事故防止装置（ブームの格納忘れを防止（警報）する装置、ブームの高さを制限する装置等）付きの車両を原則使用しなければならない。なお、令和元年度末までは経過措置期間とするが、この期間においても接触事故防止機能付きの車両を使用するよう努めるものとする。 ◎休日、夜間に作業を行う時は、事前に「休日・夜間作業届」を監督員に提出すること。 ◎受注者は、工事用車両による土砂、工事用資材、機械等の輸送を伴う場合は、関係機関と打合せを行い、交通安全に関する担当者、輸送経路、輸送期間、輸送方法、輸送担当者、交通誘導員の配置、標識、安全施設等の設置場所その他安全輸送上の事項について計画を立て、災害の防止を図らなければならない。特に、輸送経路にある既設構造物に対して損害を与えるおそれがある場合は、当該物件およびその位置と必要な措置について工事着手前に監督員に報告しなければならない。 ◎受注者は、工事期間中安全巡視を行い、工事区域及びその周辺の監視あるいは連絡を行い安全を確保するとともに工事現場における盗難防止の観点から、資機材の保管状況等についても併せて確認すること。また、監督員から「資機材保管計画書」（自由様式）の提出を求められた場合には、速やかに提出すること。 ◎工事現場には、工事標識を監督員の指示に従って見やすい場所に設けること。 ◎受注者は、本工事において使用する工事看板・バリケード等については、県産木材を用いた木製品を優先して使用するよう努めなければならない。県産木材を使用した場合、受注者は、工事完了後「木材使用実績報告書」（電子データ）を監督員へ提出しなければならない。 ◎電気保安技術者は次の者とし、必要な資格又は同等の知識及び経験を証明する資料により、監督員の承諾を受けると。 ・事業用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、その電気工作物の工事に必要な電気主任技術者の資格を有する者又はこれと同等の知識及び経験を有する者とする。 ・一般用電気工作物に係る工事の電気保安技術者は、第1種又は第2種電気工事士の資格を有する者とする。 ◎発生材の処理等は、次により適正に行う。 (1) 工事による発生材のうち、文化財保護法に基づく物及び有価材と判断される物については、報告及び引き渡しを要する。 (2) 上記以外の発生材は、建設工事に係る資材の再生資源化等に関する法律、資材の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建設副産物適正処理推進要綱その他関係法令等に従い処理すること。受注者は、工事で発生する産業廃棄物を保管する場合、または自ら運搬する場合等においては、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の規定を遵守すること。図面に表示のないものについては、監督員（契約書に規定する監督員をいい、標仕の規定による場合は監督職員と読み替える。以下同じ。）に報告し指示を仰ぐこと。
④ 工事現場管理	

項 目	特 記 事 項																																																																								
	(3) 撤去物の種類、規模、構造、撤去方法、養生方法、発生材の処分場を記載する。 <table><tr><th>種類</th><th>コンクリートガラ（有筋）</th><th>金属（処分）</th><th>ガラス</th></tr><tr><td>処分許可業者の会社名</td><td>大成(有)機設渡田合材工場</td><td>(株)旭金属</td><td>(株)フクブル</td></tr><tr><td>所在地</td><td>三好市池田町白地字井ノ久保1 588-1</td><td>徳島市東沖洲1丁目1 2</td><td>徳島市上八万町田中1148番地1</td></tr><tr><td>処分地の所在地</td><td>三好市池田町白地字井ノ久保1 588-1</td><td>徳島市東沖洲1丁目1 2</td><td>徳島市上八万町田中1148番地</td></tr><tr><td>運搬距離（km）</td><td>4.9</td><td>78.1</td><td>72.9</td></tr><tr><td>処分費（円）</td><td>2,800円/t</td><td>0</td><td>4,000円/t</td></tr></table> <table><tr><th>種類</th><th>木材</th><th>廃ブラ</th><th>石膏ボード</th></tr><tr><td>処分許可業者の会社名</td><td>(有)徳島興産</td><td>(株)明和フナ</td><td>(財)徳島県環境整備公社（徳島東部）</td></tr><tr><td>所在地</td><td>徳島市津田海岸町2番90号</td><td>三好市山城町寺野字大休場856</td><td>板野郡松茂町豊久字朝日野6番の地先</td></tr><tr><td>処分地の所在地</td><td>徳島市津田海岸町2番90号</td><td>三好市山城町寺野字大休場856</td><td>板野郡松茂町豊久字朝日野6番の地先</td></tr><tr><td>運搬距離（km）</td><td>78.2</td><td>14.0</td><td>81.1</td></tr><tr><td>処分費（円）</td><td>10,000円/t</td><td>15,000円/m3</td><td>22,700円/t</td></tr></table> <table><tr><th>種類</th><th>廃石 雑等</th><th>残土 処分</th><th></th></tr><tr><td>処分許可業者の会社名</td><td>(株)明和フナ</td><td>誰らくーだ</td><td></td></tr><tr><td>所在地</td><td>三好市山城町寺野字大休場856</td><td>三好市池田町白地井ノ久保829-2</td><td></td></tr><tr><td>処分地の所在地</td><td>三好市山城町寺野字大休場856</td><td>三好市池田町白地井ノ久保829-2</td><td></td></tr><tr><td>運搬距離（km）</td><td>14.0</td><td>13.0</td><td></td></tr><tr><td>処分費（円）</td><td>50,000円/m3</td><td>1,800円/m3</td><td></td></tr></table> 上記以外の許可業者の処分場で処分しても差し支えないが、増額変更の対象とはしない。また、この場合、処分単価の見積書の提出を求め、減額変更を行うことがある。 なお、上記の処分場が徳島県優良産業廃棄物処理業者（以下、「優良産業処分業者」という。）に認定されているとき、処分場を変更する場合は原則として優良産業処分業者に変更すること。ただし、諸般の事情により優良産業処分業者以外の処分場で処分を行う場合は、理由書を監督員に提出すること。 また、コンクリート・アスファルト類の搬出先については、中間処理施設のみとする。木材については、50kmの範囲内にある木材再資源化施設への搬出を原則とする。 (4) 受注者は、建設副産物が搬出される工事にあたっては、建設発生土は建設発生土搬出調査、産業廃棄物は産業廃棄物管理票（マニフェスト）により、適正に処理されているか確認するとともに、監督員に建設発生土搬出調査（様式3）を提出しなければならない。なお、監督員等の指示があった場合は直ちに産業廃棄物管理票の写しを提示しなければならない。 ◎受注者は、資源の有効な利用の促進に関する法律（以下「資源有効利用促進法」という。）に基づく建設業に属する事業を行う者の再生資源の利用に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第19号）第8条で規定される工事、又は建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）施行令第2条で規定される工事（以下「一定規模以上の工事」という。）において、コンクリート（二次製品を含む。）、土砂、砕石、加熱アスファルト混合物又は木材を工事現場に搬入する場合には、（一財）日本建設情報総合センターの建設副産物情報交換システム（以下「COBRIIS」という。）により再生資源利用計画書を作成し、監督員の確認を受けなければならない。 受注者は、資源有効利用促進法に基づく建設業に属する事業を行う者の指定副産物に係る再生資源の利用の促進に関する判断の基準となるべき事項を定める省令（H3.10.25建設省令第20号）第7条で規定される工事、又は一定規模以上の工事において、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物を工事現場から搬出する場合には、COBRIISにより再生資源利用促進計画書を作成し、監督員の確認を受けなければならない。 受注者は、再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を作成した場合には、工事完了後速やかにCOBRIISにより再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し、監督員に提出しなければならない。 受注者は、COBRIISの入力において、資源の供給元及び搬出する副産物の搬出先について、その施設名、施設の種類及び住所を必ず入力しなければならない。ただし、バージン材を使用する生コンクリート及び購入土を除くものとする。 ◎建設リサイクル法通知済証の提示 受注者は、建設リサイクル法に基づく対象建設工事（特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が建設リサイクル法施行令で定める基準以上のもの）においては、工事現場の公衆の見やすい場所に工事着手前までに「建設リサイクル法通知済証」を掲示し、工事しゅん工検査が終了するまで存置しておかななければならない。また、「建設リサイクル法通知済証」掲示後の全景写真は電子納品の対象書類とし、「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づき提出することとする。なお、「建設リサイクル法通知済証」は契約締結後から工事着手日までの期間に発注者から支給することとする。	種類	コンクリートガラ（有筋）	金属（処分）	ガラス	処分許可業者の会社名	大成(有)機設渡田合材工場	(株)旭金属	(株)フクブル	所在地	三好市池田町白地字井ノ久保1 588-1	徳島市東沖洲1丁目1 2	徳島市上八万町田中1148番地1	処分地の所在地	三好市池田町白地字井ノ久保1 588-1	徳島市東沖洲1丁目1 2	徳島市上八万町田中1148番地	運搬距離（km）	4.9	78.1	72.9	処分費（円）	2,800円/t	0	4,000円/t	種類	木材	廃ブラ	石膏ボード	処分許可業者の会社名	(有)徳島興産	(株)明和フナ	(財)徳島県環境整備公社（徳島東部）	所在地	徳島市津田海岸町2番90号	三好市山城町寺野字大休場856	板野郡松茂町豊久字朝日野6番の地先	処分地の所在地	徳島市津田海岸町2番90号	三好市山城町寺野字大休場856	板野郡松茂町豊久字朝日野6番の地先	運搬距離（km）	78.2	14.0	81.1	処分費（円）	10,000円/t	15,000円/m3	22,700円/t	種類	廃石 雑等	残土 処分		処分許可業者の会社名	(株)明和フナ	誰らくーだ		所在地	三好市山城町寺野字大休場856	三好市池田町白地井ノ久保829-2		処分地の所在地	三好市山城町寺野字大休場856	三好市池田町白地井ノ久保829-2		運搬距離（km）	14.0	13.0		処分費（円）	50,000円/m3	1,800円/m3	
種類	コンクリートガラ（有筋）	金属（処分）	ガラス																																																																						
処分許可業者の会社名	大成(有)機設渡田合材工場	(株)旭金属	(株)フクブル																																																																						
所在地	三好市池田町白地字井ノ久保1 588-1	徳島市東沖洲1丁目1 2	徳島市上八万町田中1148番地1																																																																						
処分地の所在地	三好市池田町白地字井ノ久保1 588-1	徳島市東沖洲1丁目1 2	徳島市上八万町田中1148番地																																																																						
運搬距離（km）	4.9	78.1	72.9																																																																						
処分費（円）	2,800円/t	0	4,000円/t																																																																						
種類	木材	廃ブラ	石膏ボード																																																																						
処分許可業者の会社名	(有)徳島興産	(株)明和フナ	(財)徳島県環境整備公社（徳島東部）																																																																						
所在地	徳島市津田海岸町2番90号	三好市山城町寺野字大休場856	板野郡松茂町豊久字朝日野6番の地先																																																																						
処分地の所在地	徳島市津田海岸町2番90号	三好市山城町寺野字大休場856	板野郡松茂町豊久字朝日野6番の地先																																																																						
運搬距離（km）	78.2	14.0	81.1																																																																						
処分費（円）	10,000円/t	15,000円/m3	22,700円/t																																																																						
種類	廃石 雑等	残土 処分																																																																							
処分許可業者の会社名	(株)明和フナ	誰らくーだ																																																																							
所在地	三好市山城町寺野字大休場856	三好市池田町白地井ノ久保829-2																																																																							
処分地の所在地	三好市山城町寺野字大休場856	三好市池田町白地井ノ久保829-2																																																																							
運搬距離（km）	14.0	13.0																																																																							
処分費（円）	50,000円/m3	1,800円/m3																																																																							
⑤ 材料・製品等	◎本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS又はJASマーク表示のない材料及びその製造業者等は、次の(1)から(3)の事項を満たすものとする。 (1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 (2) 法令等で定める許可、認定又は免許を取得していること。 (3) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 なお、「評価名簿による」と記載されているものは、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「建築材料等評価名簿（最新版）」記載品を指すものとする。 ◎受注者は、本工事で使用する建築材料・製品等（以下「建材等」という）の発注の際には、発注前に、「生コンクリート使用承諾願」、「材料使用承諾願」、「木材使用承諾願」を監督員へ提出しなければならない。 ◎受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「木材使用実績報告書」（電子データ）、「建設資材使用実績報告書」（電子データ）を監督員に提出しなければならない。																																																																								

	徳島県県土整備部営繕課	●工事名 R 2 営繕 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築	●図面番号 特-01	
		●図面名 建築改修工事仕様書（1）	●縮尺 NON	

項 目	特 記 事 項
	◎県産木材の使用 (1) 受注者は、工事目的物及び指定仮設で木材を使用する場合並びにコンクリート打設用型枠を使用する場合、原則として県産木材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合にはこの限りでない。 (2) 「県産木材」とは、「徳島県内の森林で育成した木材」のことであり、「徳島県内の森林で育成した木材」とは次のことである。 ① 徳島県木材認証制度により、県内産であることが「産地認証」された木材 ② ①以外において、徳島県内の森林で育成したことが確認された木材 (3) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事について、県産木材以外の木材を使用する場合は、県産木材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。 (4) 受注者は、県産木材を使用する前に、徳島県木材認証機構から発行される「産地認証」証明書の写しにより県産木材であることを示す書類を監督員へ提出しなければならない。 (5) 県内の森林から直接調達するなど、前項により難しい場合は木材調達先の産地及び相手の氏名等を記入した書類を監督員へ提出しなければならない。 ◎製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。 また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18年2月15日)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。 ◎改構仕に記載されていない特別な材料の仕様・工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の仕様及び指定工法による。 ◎県内産資材の使用 (1) 受注者は、木材以外の建設資材を使用する工事を施工する場合、原則として県内産資材を使用しなければならない。ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。なお、WTO対象工事については、県内産資材を優先して使用するよう努めるものとする。 (2) 受注者は、請負金額が500万円以上の工事について、県内産資材以外の資材を使用する場合は、県内産資材を使用できない理由を記載した書面及び確認資料を事前に監督員に提出し、承諾を得なければならない。 (3) 受注者は、工事完了後、請負金額が500万円以上の工事において、「建設資材使用実績報告書」を監督員に提出しなければならない。 県内産資材(次のいずれかに該当するもの) ① 材料の主な部分を県内産出の原材料を使用している製品 ② 徳島県内の工場で加工、製造された製品 注1 部材、部品が県外製品であっても、県内の工場で加工、製造した製品(二次製品)であれば県内産資材として取り扱う。 注2 県内企業が県外に立地した工場(自社工場)で加工、製造した製品も県内産資材として取り扱う。 注3 公共建築工事標準仕様書その関連する示方書等の基準を満たす資材、製品であること。 ◎県内産再生砕石の原則使用 受注者は、再生砕石を使用する場合、県内の再資源化施設(廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第15条第1項に基づく許可を有する施設(同法第15条の2の5第1項に基づく変更の許可において同じ。))で製造された再生砕石を原則として使用しなければならない。 ◎受注者は、徳島県内に主たる営業所を有する者から調達した建材等(県内企業調達建材等)を優先して使用するよう努めなければならない。なお、県内企業調達建材等以外を使用する場合は、県内企業調達建材等を使用しない理由を記載した理由書を監督員に提出しなければならない。 ◎本工事に使用する建築材料は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板及び仕上げ塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 (2) 保温材、緩衝材、断熱材は、ホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 (3) 接着剤は、フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 (4) 塗料は、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 (5) (1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。 ◎工事現場監督員は常駐できないので、疑問な点、その他打合せ決定を要する事項は、監督員の出向いた時、又は営繕課へ問い合わせ、工事に遺漏のないようにすること。 ◎施工にあたっては、設計図書に従って忠実に施工すること。不都合な工法等を発見した場合は、工事が進行済みであっても根本的な手直しを命ずるので、注意して施工すること。手直し工事は、受注者の責任において実施し、それに要する費用は受注者の負担とする。
⑥	化学物質を発散する建築材料等
⑦	施工

項 目	特 記 事 項																																																																																																																																																			
	◎他工事と取り合い区分 <table><thead><tr><th>項 目</th><th>建築工事</th><th>電気工事</th><th>管 工 事</th><th>空調工事</th><th>そ の 他</th></tr></thead><tbody><tr><td>梁、壁、床スリーブ入れ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>同上穴埋補修</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>スリーブ開口補強(鉄筋)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>同上(リンブレン等)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>床、天井点検口</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>設備機器天井開口墨出</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>同上切込み及び開口補強</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td></td></tr><tr><td>縦樋(GLまで)</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>盤、便器等の箱入れ</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>同上補強</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>給排水ガラリ取り付け</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>空調機器類の基礎工事</td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ◎技能士の適用については、次の技能検定作業(以下、「作業」という。)のうち各工事毎に適用する作業を指定するものとする。 技能士は、職業能力開発促進法による一級技能士又は二級技能士の資格を有する者とし、資格を証明する資料を監督員に提出すること。 技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行うこと。技能士は、氏名、検定職種、技能士番号等県が指定した内容を記載した名札等により、資格を明示するものとする。 なお、指定のない作業についてもその活用を図るよう努めることとする。 ○印 …… 適用作業 <table><thead><tr><th>工事種目</th><th>技能検定職種</th><th>技 能 検 定 作 業</th></tr></thead><tbody><tr><td>仮設</td><td>とび</td><td>○ とび作業</td></tr><tr><td>鉄筋</td><td>鉄筋施工</td><td>○ 鉄筋組立て作業</td></tr><tr><td>コンクリート</td><td>コンクリート圧送施工</td><td>○ コンクリート圧送工事作業</td></tr><tr><td>型枠</td><td>型枠施工</td><td>○ 型枠工事作業</td></tr><tr><td>鉄骨</td><td>鉄工</td><td>○ 構造物鉄工作業</td></tr><tr><td>防水</td><td>防水施工</td><td>○ アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・改質7A防水シート工法防水工事作業 ・改質7A防水シート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業</td></tr><tr><td>タイル</td><td>タイル張り</td><td>○ タイル張り作業</td></tr><tr><td>木</td><td>建築大工</td><td>○ 大工工事作業</td></tr><tr><td>屋根及びとい</td><td>建築板金</td><td>・内外装板金作業</td></tr><tr><td>金属</td><td>建築板金</td><td>・かわらぶき作業</td></tr><tr><td>左官</td><td>左官</td><td>○ 左官作業</td></tr><tr><td>建具</td><td>建具製作</td><td>・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業</td></tr><tr><td></td><td>サッシ施工</td><td>・ビル用サッシ施工作業</td></tr><tr><td></td><td>ガラス施工</td><td>○ ガラス工事作業</td></tr><tr><td>塗装</td><td>塗装</td><td>○ 建築塗装作業</td></tr><tr><td>内装</td><td>内装仕上げ施工</td><td>○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ工事作業 ○ 鋼製下地工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ・カーテン工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業</td></tr><tr><td></td><td>表装</td><td>・表具作業 ・壁装作業</td></tr><tr><td>配管</td><td>配管</td><td>・建築配管作業</td></tr><tr><td>植栽</td><td>造園</td><td>・造園工事作業</td></tr><tr><td>機械設備</td><td>冷凍空調和機器施工</td><td>・冷凍空調和機器施工作業</td></tr></tbody></table> ◎工事監理業務受注者が作成する設計変更箇所一覧表の内容について監督員、工事監理業務受注者とともに定期的に確認すること ◎工事しゅん工前に全ての設計変更箇所について、監督員、工事監理業務受注者とともに、書面により確認すること ◎設計図書(各施工計画書を含む)に定められた工程が完了した時、報告書を提出し、監督員の検査を受け、承諾を受けて次の工程に進むこと ◎試験等によらなければ、確認できない工事(製品)については、試験等計画書(施工計画書に記載)を提出し、監督員の承諾を受け試験を行い、その結果を報告し承認を得ること。 ◎次表により中間検査の対象工事となった場合は、原則として次表の実施回数以上の中間検査を実施するものとする。ただし、工事検査員が認める場合は、一般入札工事に限り、これによらないことができる。	項 目	建築工事	電気工事	管 工 事	空調工事	そ の 他	梁、壁、床スリーブ入れ		○	○	○		同上穴埋補修		○	○	○		スリーブ開口補強(鉄筋)	○					同上(リンブレン等)	○					床、天井点検口	○					設備機器天井開口墨出		○	○	○		同上切込み及び開口補強	○					衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め			○			縦樋(GLまで)	○					盤、便器等の箱入れ		○	○	○		同上補強	○					給排水ガラリ取り付け	○					空調機器類の基礎工事	○					工事種目	技能検定職種	技 能 検 定 作 業	仮設	とび	○ とび作業	鉄筋	鉄筋施工	○ 鉄筋組立て作業	コンクリート	コンクリート圧送施工	○ コンクリート圧送工事作業	型枠	型枠施工	○ 型枠工事作業	鉄骨	鉄工	○ 構造物鉄工作業	防水	防水施工	○ アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・改質7A防水シート工法防水工事作業 ・改質7A防水シート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業	タイル	タイル張り	○ タイル張り作業	木	建築大工	○ 大工工事作業	屋根及びとい	建築板金	・内外装板金作業	金属	建築板金	・かわらぶき作業	左官	左官	○ 左官作業	建具	建具製作	・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業		サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	○ ガラス工事作業	塗装	塗装	○ 建築塗装作業	内装	内装仕上げ施工	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ工事作業 ○ 鋼製下地工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ・カーテン工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業		表装	・表具作業 ・壁装作業	配管	配管	・建築配管作業	植栽	造園	・造園工事作業	機械設備	冷凍空調和機器施工	・冷凍空調和機器施工作業
項 目	建築工事	電気工事	管 工 事	空調工事	そ の 他																																																																																																																																															
梁、壁、床スリーブ入れ		○	○	○																																																																																																																																																
同上穴埋補修		○	○	○																																																																																																																																																
スリーブ開口補強(鉄筋)	○																																																																																																																																																			
同上(リンブレン等)	○																																																																																																																																																			
床、天井点検口	○																																																																																																																																																			
設備機器天井開口墨出		○	○	○																																																																																																																																																
同上切込み及び開口補強	○																																																																																																																																																			
衛生器具取付のブロック壁 空洞部分のモルタル埋め			○																																																																																																																																																	
縦樋(GLまで)	○																																																																																																																																																			
盤、便器等の箱入れ		○	○	○																																																																																																																																																
同上補強	○																																																																																																																																																			
給排水ガラリ取り付け	○																																																																																																																																																			
空調機器類の基礎工事	○																																																																																																																																																			
工事種目	技能検定職種	技 能 検 定 作 業																																																																																																																																																		
仮設	とび	○ とび作業																																																																																																																																																		
鉄筋	鉄筋施工	○ 鉄筋組立て作業																																																																																																																																																		
コンクリート	コンクリート圧送施工	○ コンクリート圧送工事作業																																																																																																																																																		
型枠	型枠施工	○ 型枠工事作業																																																																																																																																																		
鉄骨	鉄工	○ 構造物鉄工作業																																																																																																																																																		
防水	防水施工	○ アスファルト防水工事作業 ・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業 ・アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塩化ビニル系シート防水工事作業 ・セメント系防水工事作業 ○ シーリング防水工事作業 ・改質7A防水シート工法防水工事作業 ・改質7A防水シート常温粘着工法防水工事作業 ・FRP防水工事作業																																																																																																																																																		
タイル	タイル張り	○ タイル張り作業																																																																																																																																																		
木	建築大工	○ 大工工事作業																																																																																																																																																		
屋根及びとい	建築板金	・内外装板金作業																																																																																																																																																		
金属	建築板金	・かわらぶき作業																																																																																																																																																		
左官	左官	○ 左官作業																																																																																																																																																		
建具	建具製作	・木製建具手加工作業 ・木製建具機械加工作業																																																																																																																																																		
	サッシ施工	・ビル用サッシ施工作業																																																																																																																																																		
	ガラス施工	○ ガラス工事作業																																																																																																																																																		
塗装	塗装	○ 建築塗装作業																																																																																																																																																		
内装	内装仕上げ施工	○ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・カーベット系床仕上げ工事作業 ○ 鋼製下地工事作業 ○ ボード仕上げ工事作業 ・カーテン工事作業 ・木質系床仕上げ工事作業																																																																																																																																																		
	表装	・表具作業 ・壁装作業																																																																																																																																																		
配管	配管	・建築配管作業																																																																																																																																																		
植栽	造園	・造園工事作業																																																																																																																																																		
機械設備	冷凍空調和機器施工	・冷凍空調和機器施工作業																																																																																																																																																		
⑧	技能士の適用																																																																																																																																																			
⑨	設計変更箇所確認																																																																																																																																																			
⑩	工事検査及び技術検査																																																																																																																																																			

項 目	特 記 事 項																													
	<table><thead><tr><th>当初請負対象額</th><th>一般入札工事</th><th>低入札工事</th></tr></thead><tbody><tr><td>3千万円未満</td><td>—</td><td>1回</td></tr><tr><td>3千万円以上5千万円未満</td><td>—</td><td>2回</td></tr><tr><td>5千万円以上1億円未満</td><td>1回</td><td>2回</td></tr><tr><td>1億円以上</td><td>2回</td><td>3回</td></tr></tbody></table> (注) 低入札工事とは、低入札価格調査工事の調査基準価格を下回って落札した工事をいう。 一般入札工事とは、低入札工事以外の工事をいう。 ◎中間検査の実施時期は、当該工事の工程を考慮し施工上の重要な時点で行うものとし、契約締結後速やかに監督員と協議すること。 ◎中間検査が部分払検査と同時期になる場合は、中間検査を省略することができる。 ◎基礎杭工事を含む工事については、請負対象額にかかわらず、基礎杭工事完了後、中間検査を実施する。 ◎電子納品：対象 ◎提出書類 ・竣工図(製本3部、電子データ2部)(本—本—本—A2—、原因版) ・工事写真(写真帳1部(・着事前 ・竣工)、電子データ2部) ・使用材料一覧表(4部(うち3部は竣工図表紙裏面に貼付)、電子データ2部) ・保全に関する資料 ◎竣工図は関係図面(データ貸与)を修正して作成すること。 竣工図データは、関係図面(データ貸与)を修正して作成し、PDF形式、SFC形式及びオリジナル形式をCD-Rに保存する。 ◎工事写真の電子データはしゅん工、着工前、資材、施工状況の順に整理する。 しゅん工写真については、工事目的物の状態が、資材、施工状況等については、不可視不文の出来形が写真で的確に確認できること。 ◎工事写真の撮影は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「営繕工事写真撮影要領」によること。 <table><thead><tr><th>区 分</th><th>サ イ ズ</th></tr></thead><tbody><tr><td>着 工 前</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr><tr><td>工 事 中</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr><tr><td>竣 工</td><td>カラー、手札版又はサービスサイズ</td></tr></tbody></table> ◎工事完成撮影は、専門家に(よ る ・ まろな)ものとする。 ◎受注者は、建築工事を施工する場合、原則として「徳島県電子納品運用ガイドライン【建築工事編】」に基づいて調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品(以下「電子納品」という。)すること。 ◎対象物 工事目的物及び検査済材料(支給材料を含む)について付保すること。 ◎付保除外工事 次に掲げる単独工事については、付保を除外できる。 (1) 杭及び基礎工事 (2) コンクリート躯体工事 (3) 屋外付帯工事 (4) その他実状を判断の上、必要がないと認めた場合(外壁補修工事等) ◎付保する時期及び金額 鉄筋コンクリート造の場合は躯体工事完了時に、木造及び鉄骨造の場合は基礎工事完了時に、請負金額相当額を付保する。 また、模様替え工事等については、工事着手時に請負金額相当額を付保する。 ◎保険終期 工事完成期日に14日を加えた期日とする。 なお、工期延伸した場合には、保険の期間も延長すること。 ◎その他 (1) 建設工事保険に付保した場合は、火災保険に付保したものとみなす。 (2) 付保する時期以降に出来高払いを行う場合は、受注者は保険契約の証券の写しを出来高払いの書類に添付すること。 ◎建物の用途により以下の物質の室内濃度を測定すること。 学校：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・パラジクロロベンゼン・スチレン・エチルベンゼン 学校以外：ホルムアルデヒド・トルエン・キシレン・スチレン・エチルベンゼン 採取器具は受注者にて用意すること。 <table><thead><tr><th>測 定 対 象 室</th><th>測定箇所数</th></tr></thead><tbody><tr><td>一般教室・化学教室・生物教室</td><td>(施工前 2か所・施工後 2か所) / 1部屋</td></tr><tr><td>物理教室・音楽教室・視聴覚教室</td><td>全24か所</td></tr></tbody></table>	当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事	3千万円未満	—	1回	3千万円以上5千万円未満	—	2回	5千万円以上1億円未満	1回	2回	1億円以上	2回	3回	区 分	サ イ ズ	着 工 前	カラー、手札版又はサービスサイズ	工 事 中	カラー、手札版又はサービスサイズ	竣 工	カラー、手札版又はサービスサイズ	測 定 対 象 室	測定箇所数	一般教室・化学教室・生物教室	(施工前 2か所・施工後 2か所) / 1部屋	物理教室・音楽教室・視聴覚教室	全24か所
当初請負対象額	一般入札工事	低入札工事																												
3千万円未満	—	1回																												
3千万円以上5千万円未満	—	2回																												
5千万円以上1億円未満	1回	2回																												
1億円以上	2回	3回																												
区 分	サ イ ズ																													
着 工 前	カラー、手札版又はサービスサイズ																													
工 事 中	カラー、手札版又はサービスサイズ																													
竣 工	カラー、手札版又はサービスサイズ																													
測 定 対 象 室	測定箇所数																													
一般教室・化学教室・生物教室	(施工前 2か所・施工後 2か所) / 1部屋																													
物理教室・音楽教室・視聴覚教室	全24か所																													
⑪	完成図等																													
⑫	火災保険																													
⑬	室内空気中の化学物質の濃度測定																													

		●工事名 R 2 営繕 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築	●図面番号 特-02	
	徳島県県土整備部営繕課	●図面名 建築改修工事仕様書(2)	●縮尺 NON	

項 目	特 記 事 項
	測定は、測定対象室の工事施工前及び工事施工後に行うこと。 測定は、次のいずれかにより行う。 ・住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく評価方法基準(平成13年 国土交通省告示第1347号)第56～3(3)「ロ 測定の方法」において定められた方法 ・パッシブ型採取機器を用いる方法 パッシブ型採取機器を用いる場合は、次の要領により行う。 (1) 30分間換気 測定対象室のすべての窓及び扉(造り付け家具、押入等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。 (2) 5時間閉鎖 (1)の後、測定対象室の全ての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入等の収納部分は開放したままとする。 (3) 測定 イ (2)の状態のままで測定する。 ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。 なお、8時間測定の場合は午後2時～3時が測定時間の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。 ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。 ※(1)、(2)、(3)において、換気設備又は空気調和設備は稼働させたままとする。ただし、局所的な換気扇等で常時稼働させないものは停止させたままとする。 (4) 分析 測定対象化学物質を採取したパッシブ型採取器を分析機関に送付し、濃度を分析する。 (5) 測定結果の提出 測定後、測定結果を監督員に提出すること。 ◎測定結果が厚生労働省の指針値を超えていた場合は、発散源を特定し、換気等の措置を講じた後、再度測定を行う。 ◎受注者は、デジタル工事写真の黒板情報電子化の実施を希望する場合は、監督員の承諾を得たうえで、デジタル工事写真の黒板情報電子化対象工事（以下、「対象工事」という）とすることができる。 ◎対象工事は、徳島県CALS/ECホームページ掲載の「デジタル工事写真の黒板情報電子化の運用について（県土整備部）」に記載された全ての内容を適用することとする。
⑮ デジタル工事写真の黒板情報電子化	

2章 改修仮設工事	
項 目	特 記 事 項
① 一般事項	◎着工に先立ち、敷地境界、既存構造物、敷地の高低差地下埋設物の確認。近隣建築物及び工作物の現状確認、排水経路及び配水管の流末処理の確認並びに敷地周辺の状況確認を行うこと。
2. ベンチマーク	◎設計GLの設定は、BM()を±0とし、NGLはBM±()mmとする。ただし、監督員の指示により決定する。
③ 足場等	◎仮設機材及び経年仮設機材の使用については、次の規格又は認定基準(以下「規格等」という。)に適合するものを使用すること。 ①労働安全衛生法に基づく構造規格 ②(社)仮設工業会の認定基準 また、厚生労働省の「経年仮設機材の管理指針」の基づく(社)仮設工業会の「適用工制度」による登録工場及び指定工場等の活用に努めるとともに、前記規格等に定めるもの以外の使用に当たってはあらかじめ強度等を確認した書類を監督員に提出し、承諾を得ること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づき、労働安全衛生規則別表第7に掲げる機械等（組立から解体までの期間が60日未満を除く）の設置や移転、変更を行う場合は、30日前までに所轄労働基準監督署長に届け出をおこなうこと。 届け出をおこなった場合は、監督員に報告すること。 届け出不要の場合は、その旨監督員に報告すること。 ◎労働安全衛生法第88条に基づく届け出の要否に関わらず、足場を設置する場合は、使用開始前に営繕課指定の足場チェックリストを用いて点検した後、監督員の確認を受けること。 ◎受注者は、高さが2m以上の箇所で作業を行う場合は、墜落防止に留意し、作業日毎に「墜落防止チェックシート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。 ◎外部足場(種類：建枠、仕様：2枚布、D=90cm、シート仕様：白シート) ・壁つなぎ間隔(水平方向:3.66m以下、鉛直方向:3.4m以下) ・足場を設置する場合は、原則として「手すり先行工法に関するガイドライン」(2.2.4)の別紙1「手すり先行工法による足場の組み立て等に関する基準」の2の(2) 手すり据置方式 により行うこと。 ただし監督員の承諾を得た場合は、(3)手すり先行専用足場方式により行うことができる。 ◎内部足場（一般部）（種類：脚立足場、仕様： 枚布、D= cm） ◎内部足場（階段室）（種類：単管、仕様：2枚足場板、D=50cm） ◎仮囲いを設置する場合は、設置後に「営繕課発注現場安全再確認シート」を活用して点検を行い、その記録を保管すること。

項 目	特 記 事 項
	◎仮囲い(仕様：成形鋼板、H= 2 m、L=19.4 m) ◎ゲート((有)・無、仕様：キャスターゲート5. 0m、H= 1. 8 m) ◎足場等の設置業者は、別契約の関係受注者に無償で使用させること。また、安全管理も実施すること。 ◎受注者は、つり足場(ゴンドラのつり足場を除く。)、張出し足場又は高さが5メートル以上の構造の足場の組立て、解体又は変更の作業において、材料、器具、工具等を上げ、又はおろすときは、つり綱、つり袋等を労働者に使用させなければならない。また、作業主任者を選任し、その氏名、職務を掲示すること。 ◎その他 ◎既存部分の養生範囲は図示による。（養生方法： ） ◎既存部分の家具等の養生範囲は図示による。（養生方法： ） ◎仮間仕切りは、(本種・B種・C種)とする。 工事区画は、間仕切りにて区画を行い、鍵付き木製扉を取り付けること ◎監督員事務所は(設ける(面積＝㎡程度)＝設けない) ◎監督員事務所を設置する場合、備品は次のものを設置すること。 (1) 机、椅子、書棚、製図版、掛時計、温度計、湿度計 (2) ゴム長靴、雨がっぱ、保護帽、懐中電灯、安全帯 (3) 請負加入電話の手機 (4) 衣類ロッカー、冷暖房機器、消火器、湯沸器、掃除具 (5) ファクシミリ他 ◎既存電力利用(出来る ・ 出来ない)、電力料金(有償 ・ 無償) ただし、施設管理者と協議すること。 ◎既存水利用(出来る ・ 出来ない)、用水料金(有償 ・ 無償) ◎電力引込負担金 円 ◎上下水引込負担金 円 ◎ガス引込負担金 円 ◎仮囲い化粧(図示) その他() ◎工事に当たっては、図示のとおり仮設道路を設ける。 なお、同道路の必要がなくなった時点で、早期に(図示のとおり状態に ・ 現状に復旧)すること。 ◎道路占有料 円 ◎同用地は、(図示の場所に ・ 用意していないので業者にて)設けること。 ◎借地借家料 円 ◎受注者は当初請負対象金額（設計金額）1千万円以上7千万円未満の工事において、仮設トイレを設置する場合、原則として「洋式トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 ◎受注者は、当初請負対象金額（設計金額）7千万円以上の工事において仮設トイレを設置する場合、原則として「快適トイレ」を設置しなければならない。また、現場従事者に女性が含まれる場合は、原則として「女性専用トイレ（快適トイレ）」を設置しなければならない。 ただし、特段の理由がある場合はこの限りでない。 ◎受注者は、仮設トイレを設置した場合、「仮設トイレ設置報告書」を監督員に提出しなければならない。 ○洋式トイレとは、和式トイレの便座部分を洋式化したトイレのこと。 ○快適トイレとは、洋式トイレのうち、防臭対策・施錠の強化などが実施された、女性が利用しやすい仮設トイレのこと。
④ 養生	
⑤ 監督員事務所	
⑥ 工事用水、電力等	
7. イメージアップ工事	
8. 仮設道路整備復旧等	
9. 工事車両用駐車場 資材置場 現場事務所用地等	
⑩ 仮設トイレの洋式化	

3章 躯体工事(1)（土工事）	
項 目	特 記 事 項
① 根切り	◎周辺の状況、土質、地下水の状態等に適した工法を採用し、工事中の異常沈下、法面の滑動、その他による災害が発生しないよう、災害防止に必要な処置をすること。 ◎敷地内に埋設が予想される設備配管類等について十分調査し、支障がないようにすること。 ◎根切り底は、地盤をかく乱しないよう、手作業(深さ30cm程度)とするか、バケットに特殊アタッチメントを取りつけた機械掘りとする。なお、かく乱した場合は、自然地盤と同等以上の強度となるように適切な処置を定め、監督職員の承諾を受ける。 ◎工事に支障を及ぼす雨水、わき水等は、適正な排水溝、集水ます等を設置し、支障がないようにすること。
② 排水	

項 目	特 記 事 項
③ 埋め戻し及び盛土	◎使用土は(A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種)とし、機器により締め固める。 ◎余盛りは、土質に応じ監督員と協議の上、余盛り高さを決定すること。 ◎六価クロム溶出試験を(行う ・ 行わない)。 行った場合、土壤環境基準以下であることを確認すると共に、試験結果(計量証明書)を監督員に提出するものとする。 六価クロム溶出試験は、「セメント及びセメント系固材材の地盤改良への使用及び改良土の再利用に関する当面の措置」(平成12年3月31日 建設第258号)の「六価クロム溶出試験実施要領(案)」により実施する。 土質条件、施工条件等により試験方法、検体数に変更が生じた場合、試験の結果、六価クロムの溶出量が土壌環境基準を超えた場合等は、監督員と協議するものとする。 ◎土壌分析を行う ◎建物周囲、幅2m程度を、水はけよく地均しを行う。 ◎地均しは、均しを行う地表面の不陸を修正し、草木の除去及び清掃をして、一様にかき均した後、仕上げ面を一様になじみ起こしをして、良質土をまきかけ、歩行に耐えうる程度に締め固める。 ◎場内敷き均しとする。 ◎場外搬出適正処分とする。 民間の残土処分場等へ搬出する場合は「徳島県生活環境保全条例」によることとし、建設発生土の発生場所ごとに、かつ4,000立方メートルまでごとに1回採取して、土壌検査を行うこととする。その他、「特定事業の許可に係る土壌検査及び水質検査の実施における留意点」による。 ただし、建設発生土の公共工事間利用を行う場合で、担当者相互の同意が取れた場合には、分析の必要はない。 ◎土壌検査を行った結果、条例の基準に適合しない場合には、監督員と協議すること。
④ 地均し	
⑤ 建設発生土の処理	

3章 躯体工事(4)（鉄筋工事）		特 記 事 項			
項 目					
① 材料		規格番号	規格名称	種類の記号	径(mm)
		JIS G 3112	鉄筋コンクリート用棒鋼	SD 2 9 5 A SD 3 4 5	D 1 6 以下 D 1 9 以上 D 2 5 以下
		—	建築基準法の規定に 基づき認定を受けた鉄筋	—	
		JIS G 3551	溶接金網及び鉄筋格子	網目の形状： 寸法：	径：
② 材料試験		◎材料試験は行わない。 ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。			
③ 鉄筋の継手及び定着		◎鉄筋の継手は(重ね継手 ・ ガス圧継手 ・ 機械式継手 — 溶接継手)とする。			
		◎鉄筋の継手の位置は図示による。			
		◎結束線の端部は内側に折り曲げる。			
		◎柱、梁の主筋は、(・ ガス圧継手、機械式継手)とする。 ・ 耐力壁の鉄筋を重ね継手とする場合、重ね継手の長さは() mmとする。 ・ 先組み工法の柱、梁の主筋の継手は同一箇所としてもよい。 ◎スラブのスペーサーは鋼製を原則とし、他の箇所についても材種等について監督員の承諾を得ること。 また、鋼製のスペーサー等は、型枠、捨てコンに接する部分に防錆処理を行ったものとする。			
④ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔		◎鉄筋の90° 未満の折曲げの内法直径は図示による。			
		◎鉄筋の定着方法及び長さは図示による。			
		◎柱、梁の鉄筋の加工に用いるかぶり厚さは、標仕表5.3.6の数値に10mmを加えた数値を標準とする。			
		・ 目地がある場合のかぶりは、目地底からの寸法とする。 ・ 杭基礎の場合のかぶりの厚さは、杭先端からとする。			
⑤ 帯筋		◎各部の配筋は、図示による。図示されていない場合は、標仕参考図〔1節－基礎及び基礎梁の配筋〕～〔7節－梁貫通孔その他配筋〕による。			
	6. 梁貫通孔補強	◎形の種別は構造図による。			
		◎補強形式 鉄筋コンクリート構造配筋基準図による。			
		◎梁貫通補強に建設技術評価規定に基づく評価品を使用する場合は、それぞれの部分についてメーカーの構造計算書を提出し、監督員の承諾を得ること。			
⑦ ガス圧接		◎圧接技量資格者は、JIS Z 3881(ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準)に従う工事に相応した試験に基づく能力を有する者とする。			
		◎検査は、外観検査及び(・ 引張試験 = ◎ 超音波探傷試験)による。			
⑧ 配筋検査		◎主要な配筋は、コンクリート打込みに先立ち、種類、径、数量、かぶり、間隔、位置等について、監督職員の検査を受ける。			
⑨ あと施工アンカー工事 (耐震改修工事に伴うものを除く)		◎あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとし、これらを証明する資料を提出し、監督員の承諾を受けること。			

		●工事名 R 2 営繕 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築	●図面番号 特-03		
	徳島県県土整備部営繕課	●図面名 建築改修工事仕様書（3）	●縮尺 NON		

項 目	特 記 事 項
	◎埋込み配管等に当たった場合は、直ちに穿孔を中止し、監督員に報告し指示を受けること。 ◎鉄筋等に当たった場合は、穿孔を中止し、付近の位置に再穿孔を行うこと。中止した孔は、モルタルで充てんすること。 ◎施工確認試験を（行う・行わない）。 確認強度（引張耐力の2/3） 試験方法は標仕14.1.3(エ)による。 ◎あと施工アンカーは（金属系アンカー・ 接着系アンカー ）とする。

3章 躯体工事(5) （コンクリート工事）

項 目	特 記 事 項																																
① 一般事項	◎コンクリートの種類 ・Ⅰ類(JIS A 5308への適合を承認されたコンクリート) ・Ⅱ類(JIS A 5308への適合したコンクリート) ◎設計基準強度 <table><tr><th>コンクリートの種類</th><th>設計基準強度 Fc(N/mm²)</th><th>調合管理 強度 Fn(N/mm²)</th><th>スランプ (cm)</th><th>強度試験の有無</th><th>種別</th><th>気乾単位 容積重量 (t/m³)</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>普通コンクリート</td><td>24</td><td>24+S</td><td>15</td><td>有</td><td></td><td>2. 3</td><td>基礎</td></tr><tr><td>普通コンクリート</td><td>18</td><td>18+S</td><td>15</td><td>有</td><td></td><td>2. 3</td><td>土間</td></tr><tr><td>軽量コンクリート</td><td>24</td><td>18</td><td>15</td><td>無</td><td>2種</td><td>1. 6</td><td>便所嵩上げ</td></tr></table> ◎構造体コンクリートの調合管理強度は、設計基準強度(Fc)に構造体強度補正値(S)を加えた値とする。 なお、構造体強度補正値(S)は、標仕 表6.3.2によりセメントの種類及びコンクリートの打込みから材齢28日までの予想平均気温に応じて定める。 ◎コンクリートの強度試験 コンクリートの強度試験については、次のとおり取扱うものとする。 ・第4選強度確認 原則、第3者機関にて、主任技術者又は現場代理人立会いの上、行うこと。 ただし、第3者機関以外で行う場合は、立ち会い者を定め、監督員の承認を受け、行うこととする。 なお、試験機関を選定した際には、すみやかに監督員に報告すること。	コンクリートの種類	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	調合管理 強度 Fn(N/mm ²)	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位 容積重量 (t/m ³)	適用箇所	普通コンクリート	24	24+S	15	有		2. 3	基礎	普通コンクリート	18	18+S	15	有		2. 3	土間	軽量コンクリート	24	18	15	無	2種	1. 6	便所嵩上げ
コンクリートの種類	設計基準強度 Fc(N/mm ²)	調合管理 強度 Fn(N/mm ²)	スランプ (cm)	強度試験の有無	種別	気乾単位 容積重量 (t/m ³)	適用箇所																										
普通コンクリート	24	24+S	15	有		2. 3	基礎																										
普通コンクリート	18	18+S	15	有		2. 3	土間																										
軽量コンクリート	24	18	15	無	2種	1. 6	便所嵩上げ																										
② コンクリートの仕上がり	◎コンクリート部材の位置及び断面寸法の許容値は、標仕 表6.2.3による。 ◎合板せき板を用いる打放し上げの種別は(A・B・C)種とする。 ◎コンクリートの仕上がりの平たんさは標仕 表6.2.5による。																																
③ 普通コンクリート	◎セメントの種類は、(普通ポルトランドセメント・混合セメントA種・ 高炉セメントB種・フライアッシュセメントB種)とする。 ・高炉セメントB種適用箇所() ・フライアッシュセメントB種適用箇所() ◎骨材は、標仕6.3.1(2)による。 ◎細骨材としてフェロニッケルスラグ使用(できる・できない)。 ◎細骨材に含まれる塩化量は、NaCl換算で0.04%以下とする。 ◎コンクリート中の塩化量は、0.3kg/m ³ 以下とし、試験方法は標仕6.5.4Iによる。 ◎試験りは(行う・行わない)。 ◎所要空気量は4.5%±1.5%とする。 ◎受注者は、コンクリートの使用にあたってアルカリ骨材反応を抑制するため、次の3つの対策の中のいずれか1つについて確認をとらなければならない。 (1) コンクリート中のアルカリ総量の抑制 アルカリ量が表示されたポルトランドセメント等を使用し、コンクリート1m ³ に含まれるアルカリ総量をNa ₂ O換算で3.0kg以下にする。 (2) 抑制効果のある混合セメント等の使用 JIS R 5211高炉セメントに適合する高炉セメント [B種またはC種] あるいはJIS R 5213フライアッシュセメントに適合するフライアッシュセメント [B種またはC種] もしくは混和材をポルトランドセメントに混入した結合材でアルカリ骨材反応抑制効果の確認されたものを使用する。 (3) 安全と認められる骨材の使用 骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法またはモルタルバー法)の結果で無害と確認された骨材を使用する。 試験方法は、JIS A 1145骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書7「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(化学法)」, JIS A 1146骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)またはJIS A 5308(レディミクストコンクリート)の付属書8「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」による。 ◎混和材料を使用する場合の種類は標仕6.3.1(d)によることとし、監督員の承諾を受けること。 ◎コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、標仕9.7.3〔目地寸法〕(a)(1)による。																																
④ 打継ぎの位置 ひび割れ誘発目地 打継ぎ目地	◎打継ぎの位置 梁及びスラブ(・スパンの中央又は端から1／4付近・図示による) 柱及び壁(・スラブ、梁又は基礎の上端・図示による) ◎コンクリートの打継ぎ目地の寸法は、標仕9.7.3〔目地寸法〕(1)(ア)による。 ◎ひび割れ誘発目地の位置(・図示による・)																																

項 目	特 記 事 項																																				
⑤ レディミクストコンクリート 工場の指定	◎工事開始に先立ち、工場を選定し、監督職員の承諾を受ける。																																				
⑥ 型枠	◎型枠は、（県産木製型枠 合板 金属製・樹脂系・打込み型枠・ブロック）とする。 <table><tr><th>型枠の種類</th><th>仕上げ種別</th><th>塗装の有無</th><th>材質</th><th>厚さ</th><th>適用箇所</th></tr><tr><td>県産木製型枠</td><td>—</td><td>なし</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>6.8.2 (2)(ア)</td><td>A 種</td><td>あり</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>6.8.2 (2)(イ)</td><td>B 種</td><td>なし</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>6.8.2 (2)(イ)</td><td>C 種</td><td>なし</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>6.8.2 (2)(イ)</td><td>普通型枠</td><td>なし</td><td></td><td></td><td>基礎部</td></tr></table>	型枠の種類	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所	県産木製型枠	—	なし				6.8.2 (2)(ア)	A 種	あり				6.8.2 (2)(イ)	B 種	なし				6.8.2 (2)(イ)	C 種	なし				6.8.2 (2)(イ)	普通型枠	なし			基礎部
型枠の種類	仕上げ種別	塗装の有無	材質	厚さ	適用箇所																																
県産木製型枠	—	なし																																			
6.8.2 (2)(ア)	A 種	あり																																			
6.8.2 (2)(イ)	B 種	なし																																			
6.8.2 (2)(イ)	C 種	なし																																			
6.8.2 (2)(イ)	普通型枠	なし			基礎部																																
⑦ 無筋コンクリート	◎スリーブの材質（ つば付き鋼管、鋼管 ） ◎打ち放し仕上げの打ち増し厚さは（ 20 ）mmとし、打ち増しの範囲は図示による.. ◎打ち放し仕上げのコーンは原則、Pコンとする。また脱型後の穴埋めは、樹脂モルタルにより打ち放し面より2mm程度、引込める。 ◎無筋コンクリートは、次の場合に適用する。 ○捨コンクリート ○補強筋を必要としないコンクリート ◎適用箇所：図示																																				

3章 躯体工事(6) （鉄骨工事1）

項 目	特 記 事 項															
① 一般事項	◎製作工場は、国土交通大臣の認定による（ R ）グレード工場とし、その証明となる資料を監督職員に提出する。 ◎鉄骨製作工場には施工管理技術者を（置く・ 置かなくともよい） ◎工事現場には、鉄骨製作工場名等を記載した板（30～35×45cm）（H.4.9.30 住指発第347号）を掲示すること。 ◎鋼材は次による。 <table><tr><td>種類の記号</td><td>規格番号・規格名称等</td><td>適用箇所</td></tr><tr><td>構造特記による</td><td></td><td></td></tr></table> ◎高力ボルトは、（ JIS形高力ボルト ・ トルシア形高力ボルト2種 ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト ）とする。径は、（ 図示 ）とし、使用箇所は図示による。 <table><tr><td>規格番号等</td><td>規格名称等</td><td>セットの種類</td></tr><tr><td>建築基準法に基づき指定又は認定 JIS B 1186</td><td>トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト</td><td>JASⅡ09 2種（F8T）</td></tr><tr><td>建築基準法に基づき指定又は認定</td><td>溶融亜鉛めっき高力ボルト</td><td>1種</td></tr></table> ◎普通ボルト及びナットの材質は、 （ JIS付属品（JIS B 1180及びJIS B 1181） ・ JIS本体規格品（ISO規格） ）とする。 径は、（ 図示 ）とし、使用箇所は図示による。 ・構造用アンカーボルトの材質は（ ABR400 ・ ABR490 ）とする。 ◎ベースバック柱脚工法とする。 ◎溶接材料は、母材の種類、寸法及び溶接条件に相応したもので、製作工場の通常使用のものとする。 ◎柱底均しモルタルを無収縮モルタルとする場合は次による。 ・セメントは、JIS R 5210による普通又は早強ポルトランドセメントとする。 ・混和材は、セメント系膨張材（酸化カルシウム、カルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利・用するもの）とする。 ・砂、配合比等は、製造所の仕様による。 ・無収縮モルタルの品質及び試験方法は、標仕 表7.2.6による。	種類の記号	規格番号・規格名称等	適用箇所	構造特記による			規格番号等	規格名称等	セットの種類	建築基準法に基づき指定又は認定 JIS B 1186	トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト	JASⅡ09 2種（F8T）	建築基準法に基づき指定又は認定	溶融亜鉛めっき高力ボルト	1種
種類の記号	規格番号・規格名称等	適用箇所														
構造特記による																
規格番号等	規格名称等	セットの種類														
建築基準法に基づき指定又は認定 JIS B 1186	トルシア形高力ボルト JIS形高力ボルト	JASⅡ09 2種（F8T）														
建築基準法に基づき指定又は認定	溶融亜鉛めっき高力ボルト	1種														
② 材料																
③ 材料試験	◎JIS規格品は、材料試験は行わない。 ただし、規格証明書を提出し、監督員の承諾を得ること。 ◎トルシア形高力ボルトは、製品に対する製造管理方法及び品質管理試験の結果を、監督員に提出し承諾を受けること。 ◎板厚方向の引張試験を（行う・ 行わない）。 ◎高力ボルト、普通ボルト及びアンカーボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等は図示による。 ◎床書き現寸図は作成（する・ しない）。 ◎鉄骨の製作精度は、標準仕様書7.3.3及びH12建告第1464号第二号イによる。 H12建告第1464号第二号イ（1）（2）のただし 書きによる補強は、「突き合わせ継手の食い違いのずれの検査・補強マニュアル」による。 ◎仮設のため鉄骨に補助材等取付け及び貫通孔等を設ける場合は、工場溶接を原則とし、現場溶接となる場合は監督員の承諾を得ること。 ◎仮組を（実施する・ 実施しない）。															
④ 工作一般																

項 目	特 記 事 項								
⑤ 高力ボルト接合	◎すべり係数試験は(←行う・ 行わない)。 ただし、溶融亜鉛めっき工法の場合は、「13. 溶融亜鉛めっき工法」によるものとする。 ◎ショットブラスト又はグリットブラストにより摩擦面の表面粗度を50μmRz以上確保する場合の表面粗度の確認方法は次のいずれかによる。 (1) 表面粗度測定機による測定 (2) ブラスト機器の性能表による確認 (3) スプライスプレート販売元からの表面粗度検査結果証明書による確認 上記の方法により確認できない場合は、すべり係数試験(サンプル試験)を行い、すべり係数値0.45以上を確認すること。 ◎高力ボルトを工事現場に搬入後、JIS形高力ボルトは、トルク係数値の確認試験を(←行う・ 行わない)。 ◎確認試験の数量は、呼び径ごとに代表ロットを選び、その中から任意に取り出した5セットとする。 ◎トルシア形高力ボルトは、軸力の確認試験を(←行う・ 行わない)。 ◎締付け施工法の確認は、JASS6 6.3〔締付け施工法の確認〕に準じる。 ◎原則として本接合ボルトを仮ボルトとして使用しないこと。 ◎仮ボルトの本数は標仕7.10.5(2)～(4)とし、本接合完了までの応力に対して検討を行うこと。								
⑥ 普通ボルト接合	◎普通ボルトの戻し止めは(二重ナット・ナットの溶接・ ゆるみ防止用特殊ナット)による。 ただし、母屋・胴縁類の取付用ボルトは、全ねじボルトとし、戻し止めを省略できる。 ◎普通ボルトの座金は(・JIS B 1256 ・)による。								
⑦ 溶接接合	◎溶接作業は、工場作業を原則とする。 ただし、やむを得ない場合は監督員の承諾を得ること。 ◎溶接技能者に対して、技量付加試験を(←行う・ 行わない)。 ◎開先の形状は構造図による。 ◎溶接部の余盛り高さは、JASS6 付則6〔鉄骨精度検査基準〕付表3〔溶接〕による。 ◎スラップの形状は、図示による。 ◎エンドタブの切除は(行う ・ 行わない)。行う場合は図示による。エンドタブはバリカットを使用する。 ◎エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジ等の端から、1～5mm残して、部材断面を欠損しないよう直線上に切断する。なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。 ◎低応力高サイクル疲労を受ける部位は、図示による。 ◎完全溶込み溶接部は超音波探傷試験を(行う ・ 行わない)。 試験を行う場合の平均出検品質限界(AOQL)は(2.5%・ 4%)とする。 <table><tr><th>試験の種類</th><th>試験箇所</th><th>試験数</th><th>備 考</th></tr><tr><td>超音波探傷試験</td><td>突合せ溶接部</td><td>第6水準</td><td>第三者検査による</td></tr></table>	試験の種類	試験箇所	試験数	備 考	超音波探傷試験	突合せ溶接部	第6水準	第三者検査による
試験の種類	試験箇所	試験数	備 考						
超音波探傷試験	突合せ溶接部	第6水準	第三者検査による						
⑧ 工事現場施工	◎鉄骨建方の精度は、(社)日本建築学会「建築工事標準仕様書－6.鉄骨工事付則－6.鉄骨精度検査基準」による。 ただし以下のものは図面による。 ・特に精度を必要とする構造物あるいは構造物の部分。 ・軽微な構造物あるいは構造物の部分。 ◎建方用アンカーボルトを(使用する ・ 使用しない)。 ◎建方(及び付属鉄骨)用アンカーボルトの形状及び寸法は図示による。 ◎構造用アンカーボルトを(使用する ・ 使用しない)。 ◎構造用アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法は図示による。 ◎アンカーボルトの保持及び埋込み工法は(A ・ B)種とする。構造図参照する。 ◎柱底均しモルタル工法は(A ・ B)種とし、厚さは図示による。 A種の場合の無収縮モルタルは、製造所の仕様による。								
⑨ 溶融亜鉛めっき工法	◎摩擦面の処理は、(・ブラスト処理 ○ リン酸塩処理)とする。 ◎ブラスト処理とする場合は、5.高力ボルト接合同様の方法で表面粗度50μmRz以上の確認を行う。 ◎リン酸塩処理とする場合は、すべり耐力等を確認するものとし、確認方法は(すべり試験)とする。 すべり試験の要領は、溶融亜鉛めっき高力ボルト技術協会の「めっき高力ボルト接合設計施工指針」による。								

4章 防水改修工事

項 目	特 記 事 項
① 一般事項	◎保護層、防水層等を撤去した結果、下地等が設計図書と異なる場合は監督員と協議すること。 ◎降雨等に対する養生方法は、（上屋シート養生・下階天井養生・その他（ ））とする。

		●工事名 R 2 営繕 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築	●図面番号 特-04		
	徳島県県土整備部営繕課	●図面名 建築改修工事仕様書（4）	●縮尺 NON		

項 目	特 記 事 項																																																																																																		
② 改修工法の種類及び工程	<table><thead><tr><th>工 程</th><th>工 法</th><th>M4S工法</th><th>L0X工法</th><th>工 法</th></tr></thead><tbody><tr><td>施工箇所</td><td></td><td>屋上防水</td><td>渡り廊下屋根</td><td></td></tr><tr><td>1 既存保護層(立上り部等)撤去等</td><td></td><td>----</td><td>----</td><td></td></tr><tr><td>2 既存保護層(平場)撤去等</td><td></td><td>----</td><td>----</td><td></td></tr><tr><td>3 既存断熱層撤去等</td><td></td><td>----</td><td>----</td><td></td></tr><tr><td>4 既存防水層(立上り部等)撤去等</td><td></td><td>撤去</td><td>----</td><td></td></tr><tr><td>5 既存防水層(平場)撤去等</td><td></td><td>----</td><td>----</td><td></td></tr><tr><td>6 既存下地の補修及び処置</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>7 防水層の新設</td><td></td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>8 断熱材の新設</td><td></td><td>----</td><td>----</td><td></td></tr><tr><td>9 保護層の新設</td><td></td><td>----</td><td>----</td><td></td></tr></tbody></table>	工 程	工 法	M4S工法	L0X工法	工 法	施工箇所		屋上防水	渡り廊下屋根		1 既存保護層(立上り部等)撤去等		----	----		2 既存保護層(平場)撤去等		----	----		3 既存断熱層撤去等		----	----		4 既存防水層(立上り部等)撤去等		撤去	----		5 既存防水層(平場)撤去等		----	----		6 既存下地の補修及び処置		○	○		7 防水層の新設		○	○		8 断熱材の新設		----	----		9 保護層の新設		----	----																																												
工 程	工 法	M4S工法	L0X工法	工 法																																																																																															
施工箇所		屋上防水	渡り廊下屋根																																																																																																
1 既存保護層(立上り部等)撤去等		----	----																																																																																																
2 既存保護層(平場)撤去等		----	----																																																																																																
3 既存断熱層撤去等		----	----																																																																																																
4 既存防水層(立上り部等)撤去等		撤去	----																																																																																																
5 既存防水層(平場)撤去等		----	----																																																																																																
6 既存下地の補修及び処置		○	○																																																																																																
7 防水層の新設		○	○																																																																																																
8 断熱材の新設		----	----																																																																																																
9 保護層の新設		----	----																																																																																																
③ 既存下地の補修材料	◎アスファルトは、JIS K 2207の規格品3種とする。 ◎端部押さえ金物は、既存アルミニウム製とし、形状寸法は(1.5×10×30)とする。 ◎ポリマーセメントモルタル及びポリマーセメントペースト、層間接着用プライマー、アスファルト系下地調整材、改修用ドレン等の材料は、ルーフィング類製造所の指定する製品とする。																																																																																																		
④ ルーフドレイン廻りの処理	◎ルーフドレインの端部から(≒50mm≒・300mm)の防水層及びシーリングを撤去し、ポリマーセメントモルタルで勾配1/2程度に仕上げること。																																																																																																		
⑤ 既存下地の補修及び処理	◎補修箇所の形状、長さ、数量等は図示する。																																																																																																		
⑥ 合成高分子系ルーフィングシート防水	◎合成高分子系ルーフィングシートは、JIS A 6008の規格品とする。 <table><thead><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>シート</th><th>断熱材</th><th>施工箇所</th><th>備 考</th></tr><tr><th></th><th></th><th>種 類</th><th>厚 さ</th><th>種 類</th><th>厚 さ</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">POS S4S</td><td>S-F1</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>S-F2</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>S-M1</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>S-M2</td><td>塩化ビニル樹脂系</td><td>1.5 mm</td><td></td><td>屋上(平面)</td><td>屋上(立上り)接着工法</td></tr><tr><td rowspan="3">S3S</td><td>S-M3</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>S-F1</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>S-F2</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">M4S</td><td>S-M1</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>S-M2</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>S-M3</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>SI-F1</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">POS1 S3S1 S4S1 M4S1</td><td>SI-F2</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>SI-M1</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>SI-M2</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>SI-M3</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr><tr><td>P1S</td><td>S-C1</td><td></td><td>mm</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	工 法	種 別	シート	断熱材	施工箇所	備 考			種 類	厚 さ	種 類	厚 さ	POS S4S	S-F1		mm			S-F2		mm			S-M1		mm			S-M2	塩化ビニル樹脂系	1.5 mm		屋上(平面)	屋上(立上り)接着工法	S3S	S-M3		mm			S-F1		mm			S-F2		mm			M4S	S-M1		mm			S-M2		mm			S-M3		mm			SI-F1		mm			POS1 S3S1 S4S1 M4S1	SI-F2		mm			SI-M1		mm			SI-M2		mm			SI-M3		mm			P1S	S-C1		mm		
工 法	種 別	シート	断熱材	施工箇所	備 考																																																																																														
		種 類	厚 さ	種 類	厚 さ																																																																																														
POS S4S	S-F1		mm																																																																																																
	S-F2		mm																																																																																																
	S-M1		mm																																																																																																
	S-M2	塩化ビニル樹脂系	1.5 mm		屋上(平面)	屋上(立上り)接着工法																																																																																													
S3S	S-M3		mm																																																																																																
	S-F1		mm																																																																																																
	S-F2		mm																																																																																																
M4S	S-M1		mm																																																																																																
	S-M2		mm																																																																																																
	S-M3		mm																																																																																																
	SI-F1		mm																																																																																																
POS1 S3S1 S4S1 M4S1	SI-F2		mm																																																																																																
	SI-M1		mm																																																																																																
	SI-M2		mm																																																																																																
	SI-M3		mm																																																																																																
P1S	S-C1		mm																																																																																																
	◎機械式固定工法の場合は、引抜き試験の結果に基づき、建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。 ○建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速V0=(34)m/s 地表面粗度区分(I ・ II ・ (III) ・ IV) ◎絶縁用シートは、発泡ポリエチレンシートとする。 ◎プライマー、増し張り用シート、成型役物、接着剤、仕上塗料、シール材、固定金具、絶縁用テープ等は、ルーフィングシート製造所の指定する製品とする。 ◎固定金具 材質 (ステンレス鋼板) 形状寸法 (円盤) <table><thead><tr><th>区 分</th><th>S-M2</th></tr></thead><tbody><tr><td>下地処理</td><td>標仕9.4.4(1)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り</td></tr><tr><td>平場接着法</td><td>固定金具</td></tr><tr><td>断熱材(断熱工法)</td><td>下地に断熱材を隙間無く敷詰め固定する</td></tr><tr><td rowspan="2">増 張</td><td>立上り部等 出隅入隅部</td><td>ルーフィングシート 施工後成形役物張付け</td></tr><tr><td>ルーフドレン、 配管等と防水 下地材との取 合い部</td><td></td></tr><tr><td rowspan="4">重 部</td><td>平場</td><td>縦横40mm以上</td></tr><tr><td>立上りと平場</td><td>40mm以上</td></tr><tr><td>接合部</td><td>熱融着又は溶剤溶着</td></tr><tr><td>接合端部</td><td>紐状又は液状シール</td></tr><tr><td></td><td>立上り・立下り部の 末端部処理</td><td>端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、末端部は 押さえ金物で固定し、シール材を充填する。</td></tr><tr><td></td><td>仕上塗料</td><td></td></tr></tbody></table>	区 分	S-M2	下地処理	標仕9.4.4(1)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り	平場接着法	固定金具	断熱材(断熱工法)	下地に断熱材を隙間無く敷詰め固定する	増 張	立上り部等 出隅入隅部	ルーフィングシート 施工後成形役物張付け	ルーフドレン、 配管等と防水 下地材との取 合い部		重 部	平場	縦横40mm以上	立上りと平場	40mm以上	接合部	熱融着又は溶剤溶着	接合端部	紐状又は液状シール		立上り・立下り部の 末端部処理	端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、末端部は 押さえ金物で固定し、シール材を充填する。		仕上塗料																																																																							
区 分	S-M2																																																																																																		
下地処理	標仕9.4.4(1)又は改標仕3.5.4による。入隅は直角、出隅は面取りとし、小石等は完全に除去する。目地部に幅50mm絶縁用テープ張り																																																																																																		
平場接着法	固定金具																																																																																																		
断熱材(断熱工法)	下地に断熱材を隙間無く敷詰め固定する																																																																																																		
増 張	立上り部等 出隅入隅部	ルーフィングシート 施工後成形役物張付け																																																																																																	
	ルーフドレン、 配管等と防水 下地材との取 合い部																																																																																																		
重 部	平場	縦横40mm以上																																																																																																	
	立上りと平場	40mm以上																																																																																																	
	接合部	熱融着又は溶剤溶着																																																																																																	
	接合端部	紐状又は液状シール																																																																																																	
	立上り・立下り部の 末端部処理	端部にテープ状シール張りの上ルーフィングシート張付け、末端部は 押さえ金物で固定し、シール材を充填する。																																																																																																	
	仕上塗料																																																																																																		

項 目	特 記 事 項																																																								
① 塗膜防水	◎特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。 ◎脱気装置の仕様： ◎ルーフドレインの材質規格：改修用ドレン(塩ビ製)(ドレンキャップ共) ◎工 法： 種 別： ◎塗膜を形成する材料は、JIS A 6021の規格品とする。 ◎プライマー、層間接着用プライマー、補強布、接着剤、通気緩衝シート、シーリング材、仕上塗材等は主材料製造所の指定製品とする。 <table><thead><tr><th>工 法</th><th>種 別</th><th>施 工 箇 所</th><th>仕 上 塗 料</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">POX</td><td>X-1</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>X-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td rowspan="2">L4X</td><td>X-1</td><td>渡り廊下屋根</td><td></td><td></td></tr><tr><td>X-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>P1Y</td><td>Y-2</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>P2Y</td><td>Y-2</td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	備 考	POX	X-1				X-2				L4X	X-1	渡り廊下屋根			X-2				P1Y	Y-2				P2Y	Y-2																										
工 法	種 別	施 工 箇 所	仕 上 塗 料	備 考																																																					
POX	X-1																																																								
	X-2																																																								
L4X	X-1	渡り廊下屋根																																																							
	X-2																																																								
P1Y	Y-2																																																								
P2Y	Y-2																																																								
⑧ シーリング	◎特記仕様書、改標仕及び標仕以外は、主材料製造所の仕様による。 ◎シーリング材は、JIS A 5758の規格品とする。 ◎プライマーは、被着体及びシーリングの種類により使い分けること。 ◎監督員に、シーリング材の有効期限が切れていないことの確認を受けること。 ◎シーリング面への仕上塗材仕上げ等(行う・行わない)。 ◎外部に面するシーリング材は、施工に先立ち(簡易接着性試験・引張接着性試験)を行う。 ◎種類及び施工箇所 <table><thead><tr><th>記 号</th><th>材 質</th><th>既 存</th><th>施工箇所</th><th>改修工法</th><th>寸 法</th><th>接着試験</th></tr></thead><tbody><tr><td>SR-1</td><td>1成分シリコン系</td><td></td><td>がら留め</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>MS-2</td><td>変成シリコン</td><td>撤去</td><td>外部建具廻り</td><td>再充填</td><td>15＊10</td><td></td></tr><tr><td>MS-2</td><td>変成シリコン</td><td>撤去</td><td>外部、内部</td><td>再充填</td><td>10＊10</td><td></td></tr><tr><td>MS-2</td><td>変成シリコン</td><td></td><td>KFK6化粧目地</td><td></td><td>5＊5</td><td></td></tr><tr><td>MS-2</td><td>変成シリコン</td><td>撤去</td><td>打継目地</td><td>再充填</td><td>20＊10</td><td></td></tr><tr><td>MS-2</td><td>変成シリコン</td><td>撤去</td><td>構造スリット</td><td>再充填</td><td>40＊20</td><td></td></tr><tr><td>PU-2</td><td>ポリウレタン系</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	記 号	材 質	既 存	施工箇所	改修工法	寸 法	接着試験	SR-1	1成分シリコン系		がら留め				MS-2	変成シリコン	撤去	外部建具廻り	再充填	15＊10		MS-2	変成シリコン	撤去	外部、内部	再充填	10＊10		MS-2	変成シリコン		KFK6化粧目地		5＊5		MS-2	変成シリコン	撤去	打継目地	再充填	20＊10		MS-2	変成シリコン	撤去	構造スリット	再充填	40＊20		PU-2	ポリウレタン系					
記 号	材 質	既 存	施工箇所	改修工法	寸 法	接着試験																																																			
SR-1	1成分シリコン系		がら留め																																																						
MS-2	変成シリコン	撤去	外部建具廻り	再充填	15＊10																																																				
MS-2	変成シリコン	撤去	外部、内部	再充填	10＊10																																																				
MS-2	変成シリコン		KFK6化粧目地		5＊5																																																				
MS-2	変成シリコン	撤去	打継目地	再充填	20＊10																																																				
MS-2	変成シリコン	撤去	構造スリット	再充填	40＊20																																																				
PU-2	ポリウレタン系																																																								
⑨ 防水保証	◎防水工事完了後は、メーカー、元請業者、下請業者の3者連名による(3 ・ 5 ・ 7 ・ (10))年間の防水工事性能保証書を提出すること。																																																								

項 目	特 記 事 項																								
① 外壁改修の施工数量及び調査方法	◎当工事の概算計上数量は、1階部分の調査数量を調査し、全体数量との面積比率により算定した数量の70%を計上している。 ◎施工数量は、次の調査により監督員が承諾し確定した数量に基づき設計変更を行う。(設計変更単価は、県単価で行う) ◎外部足場設置後、施工数量調査を行う。 ◎調査に先立ち、調査内容及び方法等の計画書を作成し監督員の承諾を得ること。また、調査方法等で専門知識が必要な場合は、各工法・材料の専門技術者(製造所等)に依頼すること。 ◎モルタル塗仕上げ外壁 <table><thead><tr><th>工 法</th><th>ひび割れ部</th><th>欠 損 部</th><th>浮 き 部</th></tr></thead><tbody><tr><td>樹脂注入工法</td><td>工法：自動式低圧注 注入量：樹脂注入工 法 100ml/本 注入間隔：250mm エポキシ樹脂：低粘度形 エポキシ樹脂：中粘度形</td><td></td><td></td></tr><tr><td>Uカットシール材 充填工法</td><td>材料： シーリング材：ポリウレタン系</td><td></td><td></td></tr><tr><td>シール工法</td><td>材料：</td><td></td><td></td></tr><tr><td>アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注 入工法</td><td></td><td></td><td>エポキシ樹脂： 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m² 指定：25 本/m²</td></tr><tr><td>アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注 入工法</td><td></td><td></td><td>エポキシ樹脂： 注入量：25 ml/本 注入口： 個/m² ピン本数 一般：13 本/m² 指定：20 本/m²</td></tr></tbody></table>	工 法	ひび割れ部	欠 損 部	浮 き 部	樹脂注入工法	工法：自動式低圧注 注入量：樹脂注入工 法 100ml/本 注入間隔：250mm エポキシ樹脂：低粘度形 エポキシ樹脂：中粘度形			Uカットシール材 充填工法	材料： シーリング材：ポリウレタン系			シール工法	材料：			アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注 入工法			エポキシ樹脂： 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²	アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注 入工法			エポキシ樹脂： 注入量：25 ml/本 注入口： 個/m ² ピン本数 一般：13 本/m ² 指定：20 本/m ²
工 法	ひび割れ部	欠 損 部	浮 き 部																						
樹脂注入工法	工法：自動式低圧注 注入量：樹脂注入工 法 100ml/本 注入間隔：250mm エポキシ樹脂：低粘度形 エポキシ樹脂：中粘度形																								
Uカットシール材 充填工法	材料： シーリング材：ポリウレタン系																								
シール工法	材料：																								
アンカーピンニング 部分エポキシ樹脂注 入工法			エポキシ樹脂： 充填量：25 ml/本 ピン本数 一般：16 本/m ² 指定：25 本/m ²																						
アンカーピンニング 全面エポキシ樹脂注 入工法			エポキシ樹脂： 注入量：25 ml/本 注入口： 個/m ² ピン本数 一般：13 本/m ² 指定：20 本/m ²																						
② 外壁改修工法の種類及び材料	◎ ひび割れ等の調査の上、監督員に報告し指示を受けること。																								

項 目	特 記 事 項																																																				
③ 塗り仕上げ外壁改修工事	◎仕上げの模様、色及びつやは、見本帳又は見本塗り板を監督員に提出して、承諾をうけること。 ◎下地処理(下地のひび割れ部の補修)は、 2. 外壁改修工法の種類と材料による。 <table><thead><tr><th>種 類</th><th>既存塗膜の除去 及び下地処理</th><th>下地 仕上</th><th>下地 調整</th><th>仕上 形状</th><th>工法</th><th>防火 認定</th><th>上塗材</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="5">薄付け 仕上塗材 JIS A 6909</td><td>外装薄塗材Si 可とう形</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>外装薄塗材Si</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>外装薄塗材E (7ｽﾍﾞｽﾄ)</td><td>剥離剤併用 手工具の工法 (劣化部分の周辺のみ)</td><td>金ごて</td><td>砂壁状 C-1</td><td>吹付</td><td>-</td><td>つや消し</td></tr><tr><td>可とう形 外装薄塗材E</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>防水形 外装薄塗材E</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td>外装薄塗材S</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> ◎施工後、施工表を監督員の指示する場所に取り付けること。	種 類	既存塗膜の除去 及び下地処理	下地 仕上	下地 調整	仕上 形状	工法	防火 認定	上塗材	薄付け 仕上塗材 JIS A 6909	外装薄塗材Si 可とう形							外装薄塗材Si							外装薄塗材E (7ｽﾍﾞｽﾄ)	剥離剤併用 手工具の工法 (劣化部分の周辺のみ)	金ごて	砂壁状 C-1	吹付	-	つや消し	可とう形 外装薄塗材E							防水形 外装薄塗材E								外装薄塗材S						
種 類	既存塗膜の除去 及び下地処理	下地 仕上	下地 調整	仕上 形状	工法	防火 認定	上塗材																																														
薄付け 仕上塗材 JIS A 6909	外装薄塗材Si 可とう形																																																				
	外装薄塗材Si																																																				
	外装薄塗材E (7ｽﾍﾞｽﾄ)	剥離剤併用 手工具の工法 (劣化部分の周辺のみ)	金ごて	砂壁状 C-1	吹付	-	つや消し																																														
	可とう形 外装薄塗材E																																																				
	防水形 外装薄塗材E																																																				
	外装薄塗材S																																																				
6章 建具改修工事																																																					
① 一般事項	◎外部に面する建具は、建築基準法施行令及び「屋根ふき材、外装材及び屋外に面する帳壁の基準(昭和46年建設省告示第109号)」に基づき、安全性を確認すること。 ◎建具の耐風圧性、気密性、水密性等については、性能を有することを証明する書類を提出し、監督員の承諾をうけること。 ◎外部に面する建具の作業工程は、原則として、方立等の撤去、建具枠の取付け及びガラスのはめ込みまでを1日の作業とする。 ◎施工に先立ち、改修範囲を確認し、設計図書との相違等があれば、監督員と協議すること。 ◎防犯建物部品の適用は、建具表による。 ◎防火戸の指定は建具表による。 ◎建具見本の製作及び特殊な建具の仮組は、建具表による。																																																				
② 改修工法等	<table><thead><tr><th>区 分</th><th>かぶせ工法</th><th>撤去工法</th></tr></thead><tbody><tr><td>撤去の範囲</td><td>図示による</td><td>図示による</td></tr><tr><td>既成建具の種類</td><td>7ｽﾍﾞｽﾄ製建具</td><td>7ｽﾍﾞｽﾄ製建具、木製建具</td></tr><tr><td>新設建具の種類</td><td>7ｽﾍﾞｽﾄ製建具</td><td>7ｽﾍﾞｽﾄ製建具、鋼製建具</td></tr><tr><td>建具周囲の補修工法及び範囲</td><td>図示による</td><td>図示による</td></tr><tr><td>シーリングの種類</td><td>変成シリコン系</td><td>----</td></tr><tr><td>サッシアンカー</td><td>----</td><td>溶接アンカー</td></tr><tr><td>養生範囲</td><td>周囲 壁・床</td><td>周囲 壁・床</td></tr></tbody></table>	区 分	かぶせ工法	撤去工法	撤去の範囲	図示による	図示による	既成建具の種類	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具、木製建具	新設建具の種類	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具、鋼製建具	建具周囲の補修工法及び範囲	図示による	図示による	シーリングの種類	変成シリコン系	----	サッシアンカー	----	溶接アンカー	養生範囲	周囲 壁・床	周囲 壁・床																												
区 分	かぶせ工法	撤去工法																																																			
撤去の範囲	図示による	図示による																																																			
既成建具の種類	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具、木製建具																																																			
新設建具の種類	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具	7ｽﾍﾞｽﾄ製建具、鋼製建具																																																			
建具周囲の補修工法及び範囲	図示による	図示による																																																			
シーリングの種類	変成シリコン系	----																																																			
サッシアンカー	----	溶接アンカー																																																			
養生範囲	周囲 壁・床	周囲 壁・床																																																			
③ アルミニウム製建具	<table><thead><tr><th>種 別</th><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>枠の見込寸法</th><th>使用箇所</th><th>表面処理</th></tr></thead><tbody><tr><td>B種</td><td>S-4</td><td>A-3</td><td>W-4</td><td>70</td><td>外部</td><td>B-1種(外部) B-2種(内部)</td></tr></tbody></table> ◎防虫網の材質(ステンレス製(SUS316)・ ガラス繊維入り合成樹脂製・合成樹脂製) ◎防鳥網の材質は、ステンレス(SUS304)線材、線径1.5mm、ピッチ15mmとする。 ◎製造所： 評価名簿による。 ◎建具には製作者名を表示すること。 ◎結露水の処理方法は図示による。 ◎既存枠へ新規に建具を取り付ける場合は、原則として小ねじどめとし、とめ付け間隔は、両端を押さえ、中間は400mm以下とする。やむを得ず溶接どめとする場合は、監督員と協議し、溶接部分には鉛酸カルシウム止めペイント(JIS K 5629)を1回塗りする。	種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理	B種	S-4	A-3	W-4	70	外部	B-1種(外部) B-2種(内部)																																						
種 別	耐風圧性	気密性	水密性	枠の見込寸法	使用箇所	表面処理																																															
B種	S-4	A-3	W-4	70	外部	B-1種(外部) B-2種(内部)																																															
④ 鋼製建具	<table><thead><tr><th>耐風圧性</th><th>気密性</th><th>水密性</th><th>遮音性</th><th>断熱性</th><th>面内変形 追随性</th><th>使用箇所</th><th>表面処理</th></tr></thead><tbody><tr><td>----</td><td>----</td><td>----</td><td>----</td><td>----</td><td>----</td><td>図示による</td><td></td></tr><tr><td>----</td><td>----</td><td>----</td><td>T-2</td><td>----</td><td>----</td><td>視聴覚室</td><td></td></tr></tbody></table>	耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	面内変形 追随性	使用箇所	表面処理	----	----	----	----	----	----	図示による		----	----	----	T-2	----	----	視聴覚室																													
耐風圧性	気密性	水密性	遮音性	断熱性	面内変形 追随性	使用箇所	表面処理																																														
----	----	----	----	----	----	図示による																																															
----	----	----	T-2	----	----	視聴覚室																																															
⑤ 鋼製軽量建具	◎鋼板の厚さは、建具表による。 ◎簡易気密型ドアセットの機密性、水密性は建具表による。																																																				
⑥ 建具用金物	◎鋼板類の厚さは、建具表による。 ◎簡易気密型ドアセットの機密性、水密性は建具表による。 ◎金物の種類及び見え掛り部の材質は、改標仕表5.7.1による。 ◎金属製建具に使用する丁番は改標仕表5.7.2による。 ◎既製又はこれに準ずる建具の建具金物は、建具製作所の仕様による。 ◎樹脂製建具に使用する丁番は、改標仕表5.7.3による。 ◎握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセント等の取付け位置は図示による。 ◎マスターキーは、製作する(組)。その他の鍵の製作本数は(組)																																																				
⑦ ガラス	◎板ガラス <table><thead><tr><th>種 類</th><th>品 種</th><th>厚 さ</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td>図示による</td><td></td><td></td></tr></tbody></table>	種 類	品 種	厚 さ	備 考		図示による																																														
種 類	品 種	厚 さ	備 考																																																		
	図示による																																																				

		●工事名 R 2 宮崎 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築	●図面番号 特-05		
	徳島県県土整備部宮崎課	●図面名 建築改修工事仕様書(5)	●縮尺 NON		

項 目	特 記 事 項		
	◎外部の網入り硝子等の下辺小口及び縦小口下端の防錆処理を行うこと。		
	◎ガラス留め材の種類		
	建具の種類	材 種	ガラス溝の大きさ
	鋼 製	シーリング材	建具製造所の仕様による。
	アルミニウム製	シーリング材	図示による
	◎防火設備のガラスとめ材は、防火設備認定品とする。		

7章 内装改修工事

特 記 事 項

① 一般事項

◎工事に先立ち、改修部分の隠蔽部の調査を行い、設計図書と照合し、支障があった場合は、速やかに監督員に報告し、指示を受けること。

◎各部の撤去により、下地及び構造躯体にひび割れ及び欠陥部が発見された場合は、速やかに監督員に報告し指示を受けること。

② 撤去並びに下地補修

◎各改修工事の仕様は、仕様・仕上げ表による。

①床改修

・既設床仕上げ材の除去 改標仕6.2.2(1)参照

種 類	撤去工法	撤去範囲	備 考
ビニール床シート	改標仕6.2.2(1)(ア)による	全面・一部(図示)	部分的な不良箇所に対する指示を記入。 また、木床組の場合、撤去範囲を記入
ビニール床タイル			
ゴム系床タイル	改標仕6.2.2(1)(ウ)	同 上	
フローリング張床	改標仕6.2.2(1)(エ)	同 上	同 上
床タイル	改標仕6.2.2(1)(オ)	同 上	
床組			

・コンクリート又はモルタル面の下地処理 改標仕6.2.2(2)参照

下地の状況	下地処理方法	備 考 欄
欠損部	モルタルで補修し乾燥後	塗厚さ及び下地の風化状況により、モルタル補修が困難な場合は、カチオン系樹脂モルタル及びノロ等の補修
下地モルタル撤去部	デッキブラシ等で清掃	
壁塗装	サンダー掛け	便所 GL貼部

◎改修後の床の清掃範囲は図示する。

②壁改修

・コンクリート間仕切り壁 改標仕6.3.2(1)参照

・間仕切壁撤去に伴う構造体の補修

モルタル塗り ※施工場所は図示による。

塗り厚25mm超の場合の補修を（行う・行わない）

機械等の区分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容
油圧クラッシャー使用	
ダイヤモンドカッター使用	便所間仕切り
ハンドブレイカー使用	便所間仕切り
アグレッシブウォータージェット使用	

・木製及び軽量鉄骨間仕切り壁 改標仕6.3.2(2)、(3)及び(4)参照

撤 去 区 分	既存床・建具・天井取合の補修範囲及び内容
壁下地を含む全面	図示による
ボード面まで	図示による
ボード面を残し仕上げのみ	図示による

③天井改修 改標仕6.4.2参照

撤 去 区 分	既存壁取合の補修範囲及び内容
天井下地を含む全面	視聴覚室
ボード面まで	バーチャン改修部
ボード面を残し仕上げのみ	音楽室
天井ボード一部浮き補修	視聴覚室 被服室

・既存天井面に直接新たな仕上げ材を張付ける。

・既存天井塗装仕上げ面を塗替を行う。

③ 木工事

◎工事現場搬入時の含水率は(A ・ ㊦)種とする。

◎木材の品質

・保存処理木材は、日本農林規格に規定する保存処理の性能区分のうち、K2からK4までの保存処理(JIS K 1570)(木材保存剤)に規定する木材保存剤(ただし、クレオソート油は有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律(昭和48年法律第112号)に適合したものとする。)、これと同等の薬剤を用いたK2からK4までの薬剤の浸潤度及び吸収量を確保する工場処理その他これと同等の性能を有する処理を含む。)が施されているもの又は認証木材建材(AQマーク表示)として認定された保存処理材を使用するものとする。

・樹種及び等級

	施工箇所	樹 種	寸 法	材料の等級	形 状	表面の仕上げ	含水率	備 考
下 地 材	腰壁(廊下、教室)	杉	18×45	2級		――	A種	
造 作 材	腰壁(廊下、教室)	杉	105×12	上小節		㊦ B・C	A種	徳島県産木材
	腰壁(廊下、教室)	桧	60×12 100×12	上小節		㊦ B・C	A種	徳島県産木材

④ 製材

⑤

床張り用合板等

◎ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の普通合板等を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

◎普通合板

施工箇所	厚さ (mm)	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	備考
腰板	9	ラワン	1類	1級		
床板	12	ラワン	1類	1級		

◎パーティクルボード

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	難燃性 による区分	備考
床板	20					(天体観測準備室)

◎下地材及び造作材の釘は、JIS A 5508の規格品とする。

◎木ねじはJIS B 1112(十字穴付き木ねじ)又はJIS B 1135の規格品とする。

◎かすがい、座金、箱金物、短ざく金物等は図示により、図示のもの以外は横仕によるが、補助として、日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。

◎防蟻処理に用いる木材保存剤は人体への安全性及び環境について配慮した表面処理用木材保存剤((社)日本木材保存協会の認定薬剤等とする。)とし、2回塗りとする。

◎防蟻処理は、(社)日本木材保存協会及び(社)日本しろあり対策協会の認定品とし、2回塗り又は吹き付けとし、次の表の箇所及び部分に行うものとする。

防蟻処理の施工箇所及び施工部分の名称		塗り面
土台、火打土台、大引き、1階根太受け、大引き・根太受け床束等		全 面
大壁造りの土台上端より、1m以内の部分にある柱、間柱、筋違、窓台等		全 面
真壁造りの土台上端より、30cm以内の部分にある柱、間柱、筋違等		全 面
土台上端より、1m以内の部分にあるモルタル塗ラス張り下地板		全 面
1階窓台等		全 面

◎木材の防蟻・防蟻処理は工場において(加圧処理法 ・ 拡散処理法 ・ 浸漬処理法)により行い、十分乾燥した後に現場へ搬入すること。
ただし、現場における加工が生じた場合には、加工した箇所に対し、現場にて木材保存剤を塗布することとする。
また、工場で処理した木材を使用する場合は、次によること。
①各種製材の「日本農林規格」の保存処理の性能区分K2からK4までの区分によるものを使用する。
②JIS A 9108(土台用加圧式防蟻処理木材)によるものを使用する。
③人体への安全性及び環境への影響について配慮され、かつ、JIS K 1570(木材保存剤)又は日本木材保存協会規格による加圧注入用木材防蟻剤を用いて、JIS A 9002(木材の加圧式保存処理方法)による加圧式保存処理を行ったものを使用する。
④防蟻・防蟻に有効な薬剤が混入された接着剤を使用する場合等は、特記による。
⑤認証木材建材(AQマーク表示品)として認証された保存処理材を使用する。

◎木材保存(防蟻・防蟻処理)剤は監督員の承諾するものとする。

◎継手、仕口、取付け方法等は図示により、図示のもの以外は横仕によるが、補助として日本建築学会建築工事標準仕様書を適用する。

◎製材等(製材、集成材、合板、単板積層材)、フローリング、再生木質ボード(パーティクルボード、繊維板、木質系セメント板)については、合法性に係る確認(「産地認証」及び「品質認証」を含む。)が行われたものを使用する。ただし、機能上、需給上など正当な理由により確保が困難であり、使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。
また、それらの木質又は紙の原料となる原木についての合法性に係る確認は、林野庁作成の「木材・木材製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン(平成18. 2. 15)」に準拠して行うものとし、監督員に合法証明書を提出するものとする。
ただし、平成18年4月1日より前に伐採業者が加工・流通業者等と契約を締結している原木に係る合法性の確認については、平成18年4月1日の時点で原料・製品等を保管している者が証明書に平成18年4月1日より前に契約を締結していることを記載した場合には、上記ガイドラインに定める合法な木材であることの証明は不要とする。

◎JIS A 6517の規格品とする。

◎スタッド、ランナーの種類は、(65、100型)とし、改標仕表6. 7. 1による。

◎出入口及びこれに準ずる開口部の補強は(改標仕6. 7. 4(5)による ・)

◎JIS A 6517の規格品とする。

◎野縁等の種類は、屋内19型、屋外25型とし、改標仕表6. 6. 1による。

◎耐震性を考慮した補強及び屋外の軒天、ピロティー天井等における耐風圧性を考慮した補強は、図示による。
◎既存の埋め込みインサートの使用は、改標仕6. 6. 4(㉓)による引き抜き試験を行い、強度を確認したうえで使用すること。

⑥

諸金物

⑦

軽量鉄骨壁下地

⑧

軽量鉄骨天井下地

項 目	特 記 事 項																																																									
	◎建築基準法に基づき定められた区分等 基準風速 Vo=(34)m/s 地表面粗度区分 (I ・ ㊦ ・ III ・ IV) 積雪区分 建設省告示第1455号 別表(35) ◎屋外の野縁受・吊りボルト及びビーンサート・野縁の間隔は図示による。 ◎ダクト等によって、吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の、補強方法は図示による。 ◎天井のふとところが1.5m以上の箇所の補強方法は図示による。 ◎天井下地材における耐震性を考慮した補強方法は図示による。																																																									
⑨ ビニル床シート張り (JIS A 5705) ビニル床タイル張り (JIS A 5705) 及びゴム床タイル張り	<table><tr><th rowspan="2">材質</th><th rowspan="2">種類・種類</th><th rowspan="2">色柄</th><th rowspan="2">厚さ</th><th colspan="3">幅 木</th><th rowspan="2">接着剤</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">備 考</th></tr><tr><th>材質</th><th>厚さ</th><th>高さ</th></tr><tr><td>ビニル床シート</td><td>複層 ビニル床シート</td><td>FS(抗菌)</td><td>マブル</td><td>±2.5</td><td colspan="2">床材立上</td><td>100</td><td>エポキシ樹脂系</td><td>便所</td><td>消臭・抗菌・防汚 溶接工法</td></tr><tr><td>ビニル床シート</td><td>複層 ビニル床シート</td><td>FS(木目調)</td><td>木目調</td><td>±2.0</td><td>木巾木</td><td>EP-G</td><td>60 100</td><td>ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系</td><td>図示による</td><td>溶接工法</td></tr><tr><td>ビニル床シート</td><td>複層 ビニル床シート</td><td>FS(耐薬品)</td><td>木目調</td><td>±2.0</td><td>木巾木</td><td>EP-G</td><td>100</td><td>ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系</td><td>図示による</td><td>溶接工法</td></tr><tr><td>ビニル床シート</td><td>複層 ビニル床シート</td><td>FS</td><td>マブル</td><td>±2.0</td><td>木巾木</td><td>EP-G</td><td>100</td><td>ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系</td><td>図示による</td><td>溶接工法</td></tr></table>	材質	種類・種類	色柄	厚さ	幅 木			接着剤	施工箇所	備 考	材質	厚さ	高さ	ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS(抗菌)	マブル	±2.5	床材立上		100	エポキシ樹脂系	便所	消臭・抗菌・防汚 溶接工法	ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS(木目調)	木目調	±2.0	木巾木	EP-G	60 100	ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系	図示による	溶接工法	ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS(耐薬品)	木目調	±2.0	木巾木	EP-G	100	ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系	図示による	溶接工法	ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS	マブル	±2.0	木巾木	EP-G	100	ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系	図示による	溶接工法
材質	種類・種類					色柄	厚さ	幅 木				接着剤	施工箇所	備 考																																												
		材質	厚さ	高さ																																																						
ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS(抗菌)	マブル	±2.5	床材立上		100	エポキシ樹脂系	便所	消臭・抗菌・防汚 溶接工法																																																
ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS(木目調)	木目調	±2.0	木巾木	EP-G	60 100	ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系	図示による	溶接工法																																																
ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS(耐薬品)	木目調	±2.0	木巾木	EP-G	100	ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系	図示による	溶接工法																																																
ビニル床シート	複層 ビニル床シート	FS	マブル	±2.0	木巾木	EP-G	100	ウレタン樹脂系 1F:エポキシ樹脂系	図示による	溶接工法																																																
⑩ カーペット敷き	<table><tr><th>種 類</th><th>種 別</th><th>大きさ・厚さ</th><th>その他</th></tr><tr><td>カーペット</td><td>第一種ループパイル</td><td>500角・6.5</td><td>防炎・吸音性</td></tr></table>	種 類	種 別	大きさ・厚さ	その他	カーペット	第一種ループパイル	500角・6.5	防炎・吸音性																																																	
種 類	種 別	大きさ・厚さ	その他																																																							
カーペット	第一種ループパイル	500角・6.5	防炎・吸音性																																																							
⑪ セっこうボードその他 ボード及び合板張り	<table><tr><th>材種・規格品</th><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>不燃材等の 区分</th><th>備 考</th></tr><tr><td rowspan="2">せっこうボード JIS A 6901の規格品</td><td>壁</td><td>9.5・12.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>天井</td><td>9.5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品</td><td>天井</td><td>9.5</td><td>不燃</td><td></td></tr><tr><td>ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品</td><td>天井</td><td>9.5</td><td>不燃</td><td></td></tr><tr><td>強化せっこうボード</td><td>壁</td><td>21.0</td><td>不燃</td><td></td></tr><tr><td>化粧 けい酸カルシウム板</td><td>壁</td><td>6.0</td><td></td><td></td></tr><tr><td>けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品</td><td>天井</td><td>6.0</td><td></td><td></td></tr><tr><td>化粧せっこうボード</td><td>天井</td><td>9.5</td><td>不燃</td><td></td></tr><tr><td>その他</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	材種・規格品	施工箇所	厚さ (mm)	不燃材等の 区分	備 考	せっこうボード JIS A 6901の規格品	壁	9.5・12.5			天井	9.5			化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	9.5	不燃		ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	9.5	不燃		強化せっこうボード	壁	21.0	不燃		化粧 けい酸カルシウム板	壁	6.0			けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	天井	6.0			化粧せっこうボード	天井	9.5	不燃		その他												
材種・規格品	施工箇所	厚さ (mm)	不燃材等の 区分	備 考																																																						
せっこうボード JIS A 6901の規格品	壁	9.5・12.5																																																								
	天井	9.5																																																								
化粧せっこうボード トラバーチン模様 JIS A 6901の規格品	天井	9.5	不燃																																																							
ロックウール 化粧吸音板 JIS A 6307の規格品	天井	9.5	不燃																																																							
強化せっこうボード	壁	21.0	不燃																																																							
化粧 けい酸カルシウム板	壁	6.0																																																								
けい酸カルシウム板 JIS A 5430の規格品	天井	6.0																																																								
化粧せっこうボード	天井	9.5	不燃																																																							
その他																																																										
⑫ 壁紙張り JIS A 6921	<table><tr><th>施工箇所</th><th>種類</th><th>防火性能の級別</th><th>素地ごしらえ</th><th>不燃材料等の区分</th><th>備 考</th></tr><tr><td>天井</td><td>ビニル紙</td><td>不燃</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table> ◎ホルムアルデヒドの放散量は、F☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量が、F☆☆☆☆の壁紙を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。	施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	不燃材料等の区分	備 考	天井	ビニル紙	不燃																																																
施工箇所	種類	防火性能の級別	素地ごしらえ	不燃材料等の区分	備 考																																																					
天井	ビニル紙	不燃																																																								
13. セルフベリング材塗り	◎セルフベリング材の種類(せっこう系 ・ セメント系) 塗り厚さ()mm ◎シーラーその他の材料は、セルフベリング材製造所の指定する製品とする。																																																									
⑭ 接着剤	◎壁紙施工用でん粉系接着剤、ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆の接着剤を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。																																																									
⑮ 既製家具	◎合板、パーティクルボード及びMDFのホルムアルデヒド放散量はF☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆の合板、パーティクルボード及びMDFを使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。																																																									
⑯ 断熱材	◎ロックウール、グラスウール、ユリア樹脂又はメラミン樹脂を使用した断熱材のホルムアルデヒドの放散量はF☆☆☆☆とする。 ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの放散量がF☆☆☆☆の断熱材を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。																																																									
⑰ 手摺	◎スリム製 42.7φ 下地に堅固に取り付けること。下地がない場合は、取付下地を入れること。																																																									

		●工事名 R 2 宮崎 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築	●図面番号 特-06		
	徳島県県土整備部宮緒課	●図面名 建築改修工事仕様書(6)	●縮尺 NON		

8章 塗装改修工事

項目

特記事項

① 一般事項

○防火材料又は建築基準法に基づく指定又は認定を受けたものとする。

○塗料はホルマリン不検出のもの及び有機溶剤の含有量が少ないものとする。

○ユリア樹脂等(ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤)を用いた塗料のホルムアルデヒドの発散量は、☆☆☆☆とする。
ただし、正当な理由により確保が困難である場合等、ホルムアルデヒドの発散量が、☆☆☆☆の塗料を使用できない場合には、監督員と協議するものとし、監督員の承諾を得るものとする。

② つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り (EP-G)

区 分	種 別		下地調整	さび止め塗料		備 考
	屋外	屋内		屋外	屋内	
珪藻土・石膏面	---	B種	RB種	---	---	壁・天井
鉄鋼面	---	B種	B種	---	C種	新規建具
木部		B種	RB種	---	---	

③ オイルステイン塗り (OS)

区 分	下地調整	備 考
木部		腰壁(廊下、教室)

④ 耐候性塗料塗り (DP)

区 分	種 別	下地調整	上塗りの等級	備 考
鉄鋼面		B種(屋外) RB種		・R階チカコプレート ・鉄骨ブレース ・鉄部

⑤ クリヤーラッカー塗り (CL)

区 分	種 別	下地調整	備 考
木部			腰壁(廊下、教室)

10章 環境配慮(グリーン)改修工事

項 目

I. アスベスト含有建材の
処理工事

① 一般事項

特 記 事 項

◎関係法令、都道府県の条例等を遵守すること。

◎石綿ばく露防止対策等の実施内容を改標仕9.1.2(6)により見やすい場所に掲示すること。

◎既存の石綿含有建材の分析結果は(・貸与する ・)

◎事前の施工調査等を改標仕9.1.1(d)により行い、調査結果を監督員に提出すること。

・ただし、分析によるアスベスト含有の調査は、JIS A 1481-1による。

◎アスベスト粉塵濃度測定を(行う ・ 行わない)。

・濃度測定は「JIS K 3850-1 空気中の繊維状粒子測定方法-第1部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」による位相差・分散顕微鏡法による。

・測定機関は徳島労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

・報告書(3)部作成し監督員に提出すること。

・測定場所及び箇所は図示による。測定時期()

◎施工計画

(1) 工事着手前に施工計画書を監督員に提出し、承諾を受けること。

(2) アスベスト除去工事に係る官公署他への手続きを遅延なく行うこと。

◎アスベスト含有建材の除去を直接行う専門工事業者については、工事に相応した技術を有することを証明する資料を監督員に提出する。

② アスベスト含有吹付け材の
除去

◎工法

(1) アスベスト除去工法は、「建築物等の保全技術・技術審査証明事業」による保全審査証明取得工法又は(財)日本建築センターによる審査証明取得工法とする。

◎除去箇所一覧表

階数	室 名	箇所	建 材 種 別	面積
外壁	クラック補修箇所		リシン吹付	87.8㎡

◎アスベスト含有吹付け材の除去の工法

主要工法：剥離剤併用手工具ケレン工法

補完工法：剥離剤併用超音波ケレン工法

◎施工記録等

(1) 施工記録報告書を作成し、監督員に提出すること。

(2) 施工記録報告書のうち作業者の作業記録は40年間の保存すること。

項 目	特 記 事 項

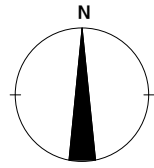
項 目	特 記 事 項

		●工事名 R 2 営繕 池田高等学校 三・池田 特別教室棟改修工事建築	●図面番号 特-07		
	徳島県県土整備部営繕課				
		●図面名 建築改修工事仕様書(7)	●縮尺 NON		

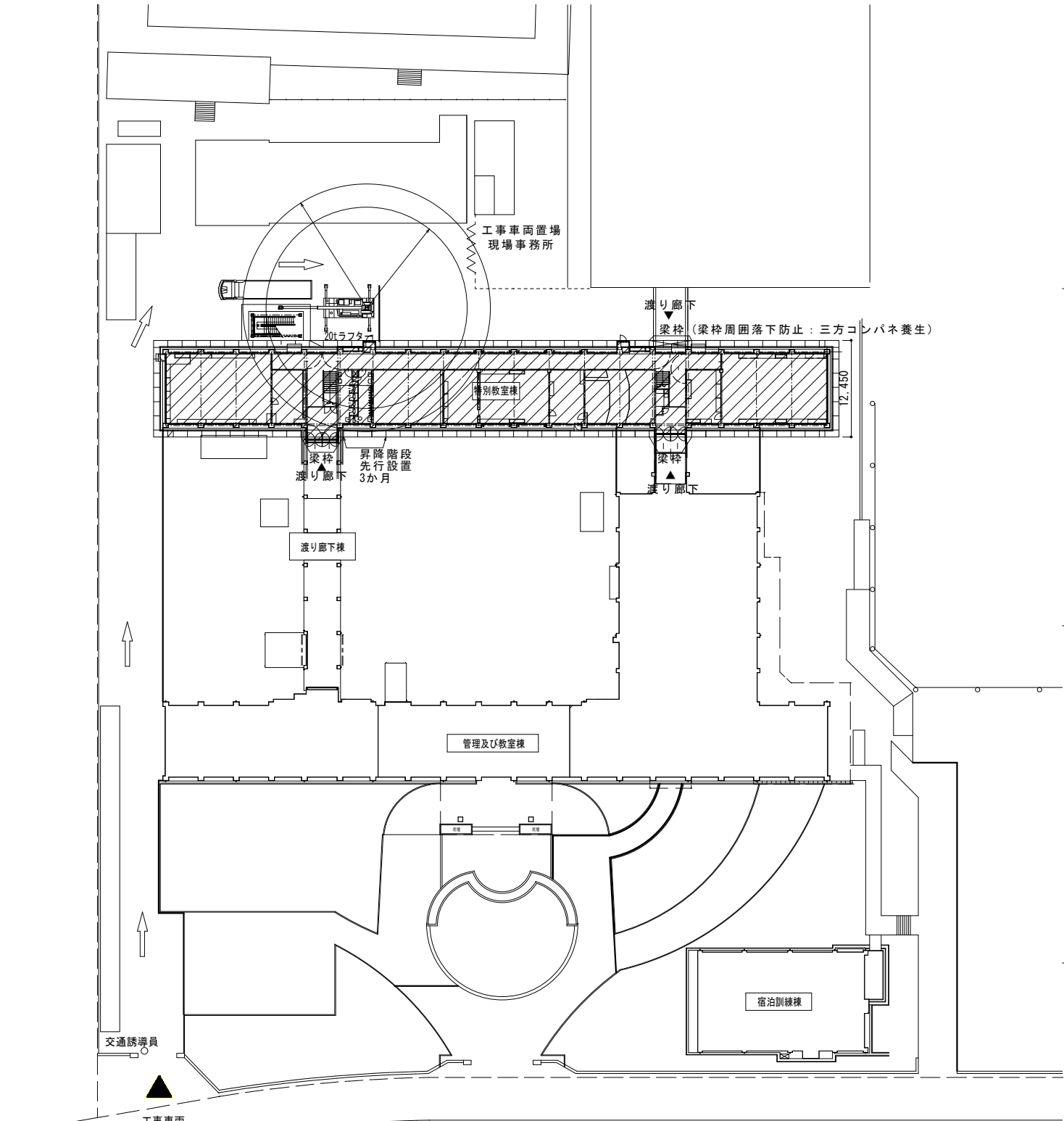
工事場所
池田高等学校 特別教室棟
徳島県三好市池田町ウエノ2834



附近見取図

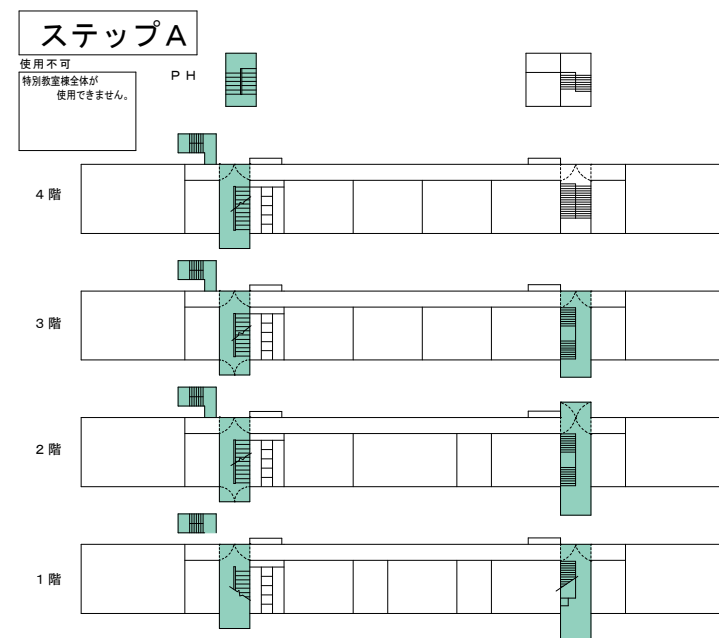
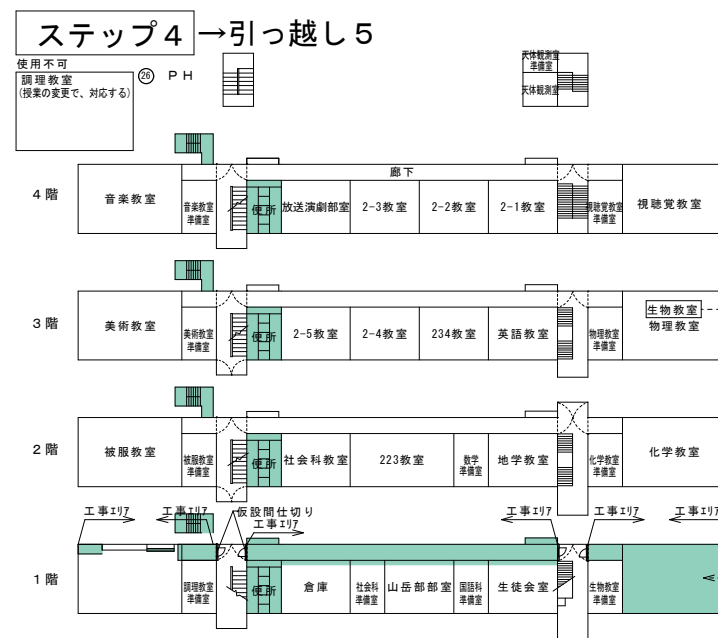
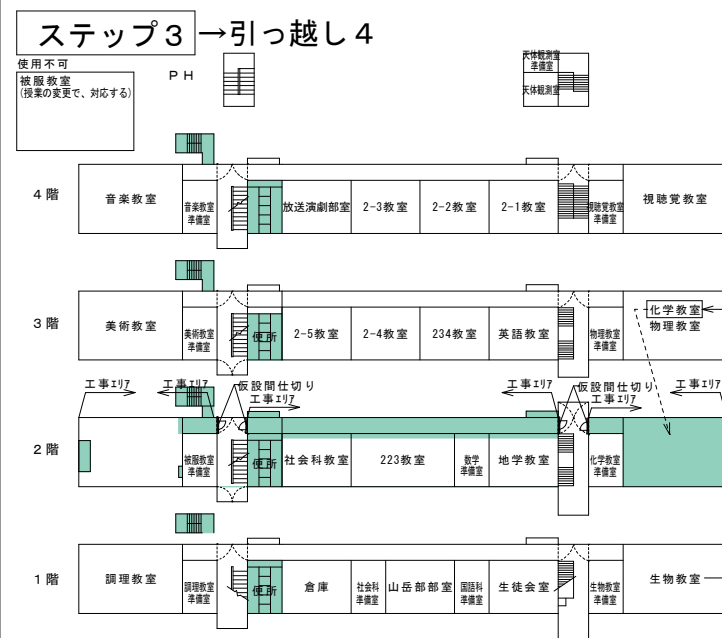
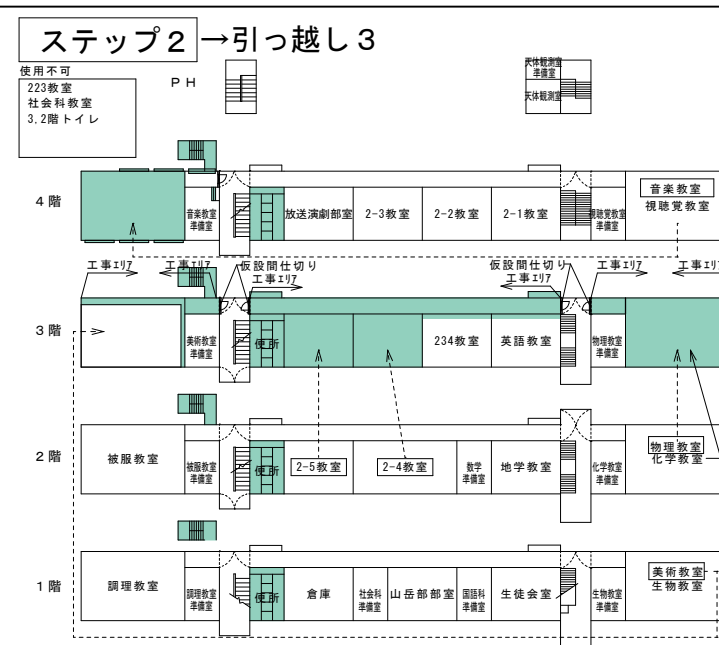
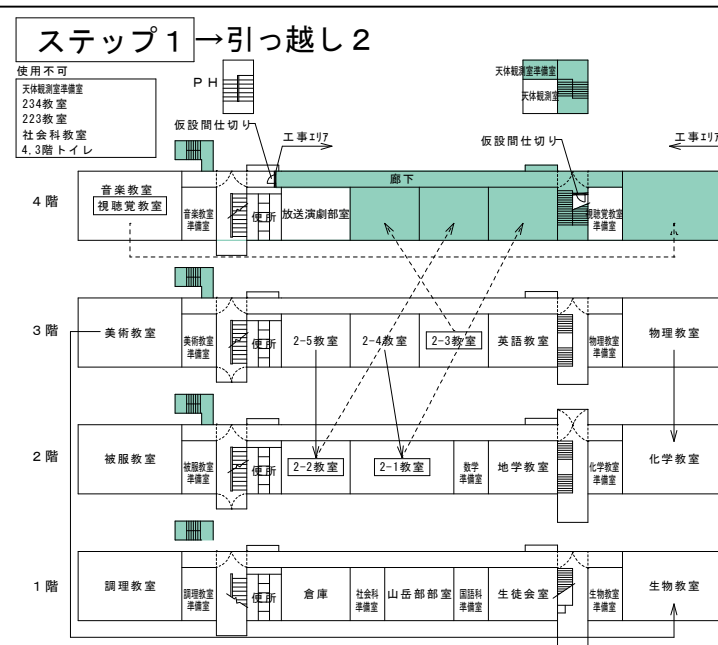
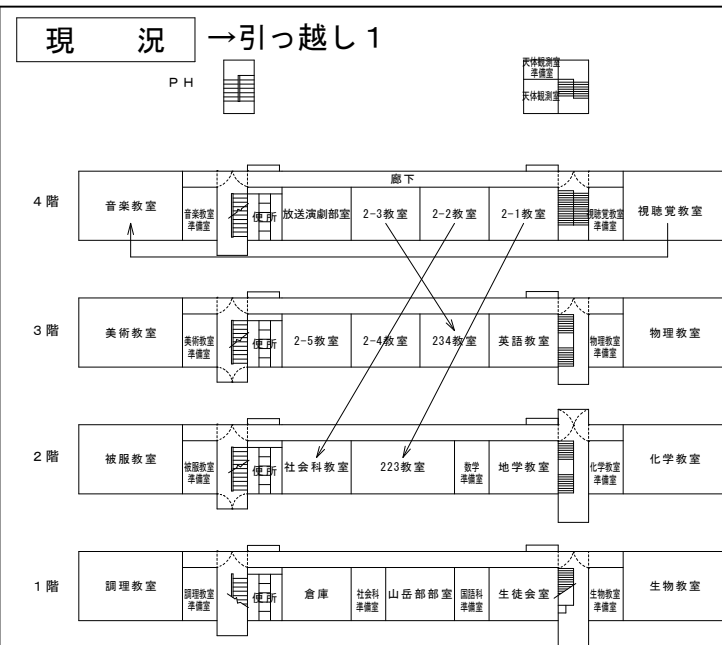


----- 仮囲い：成形鋼板 H=2,000
~~~~~ キャスターゲートW=5,000 H=1,800



配置図 1/500

改修対象建物を示す。



|                |          |          |
|----------------|----------|----------|
|                | 使用不可     | 代替教室     |
| 4<br>ステップ<br>1 | 視聴覚教室    | 音楽教室     |
|                | 2－3 教室   | 2 3 4 教室 |
|                | 2－2 教室   | 社会科教室    |
|                | 2－1 教室   | 2 2 3 教室 |
|                | 放送演劇部室   |          |
| 3<br>ステップ<br>2 | 音楽教室     | 視聴覚教室    |
|                | 美術教室     | 生物教室     |
|                | 物理教室     | 化学教室     |
|                | 2－5 教室   | 社会科教室    |
|                | 2－4 教室   | 2 2 3 教室 |
|                | 2 3 4 教室 |          |
|                | 英語教室     |          |
| 2<br>ステップ<br>3 | 被服教室     | 授業の変更で対応 |
|                | 化学教室     | 物理教室     |
|                | 社会科教室    |          |
|                | 2 2 3 教室 |          |
|                | 数学準備室    |          |
|                | 地学教室     |          |
| 1<br>ステップ<br>4 | 調理教室     | 授業の変更で対応 |
|                | 生物教室     | 物理教室     |
|                | 倉庫       |          |
|                | 社会科準備室   |          |
|                | 山岳部部室    |          |
|                | 国語科準備室   |          |
|                | 生徒会室     |          |

※ステップAの期間は、階段が使えないため、特別教室棟全体が使用できません。

[illegible]

### 参考文

※詳細は、発注者と打合せすること

| 外部仕上表        |          |     |  |                            |  |                                                   |  |  |  |                      |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |
|--------------|----------|-----|--|----------------------------|--|---------------------------------------------------|--|--|--|----------------------|--|--|----|--------|--|--------|--|------|--|-----------------------------|--|
| 場 所          |          | 部 位 |  | 既 存                        |  | 既存処置                                              |  |  |  | 改 修                  |  |  |    | 部 位    |  | 既 存    |  | 既存処置 |  | 改 修                         |  |
| 屋上<br>・ 階段屋根 | 平面       |     |  | シート防水                      |  | 既存のまま                                             |  |  |  | 下地調整の上シート防水（機械的固定工法） |  |  | 金物 | ドレン    |  |        |  | 目皿撤去 |  | 改修用ドレン（FRP製）（ドレンキャップ 共）     |  |
|              | 立上り      |     |  | シート防水                      |  | 撤去後全面が珪酸系樹脂モルタル（C-1）                              |  |  |  | シート防水（接着工法）          |  |  |    | 階段室横手摺 |  | スチール製  |  | 手摺撤去 |  | 撤去跡 防水Mの上塗膜防水               |  |
|              | 機械台      |     |  | シート防水                      |  | 既存のまま                                             |  |  |  | 下地調整の上塗膜防水           |  |  |    | 外部階段   |  | 新設外部階段 |  |      |  | 鉄部・木部ナット：溶融亜鉛メッキ、中木部緩み止めナット |  |
| 庇            | 庇裏、側面    |     |  | モルタル刷毛引リシン吹付（セメント系）        |  | 剥離剤併用手工具ケレン工法、高圧洗浄（15MPa）劣化部補修の上全面が珪酸系樹脂モルタル（C-1） |  |  |  | 外装薄塗材E（アクリルリシン吹付）    |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |
|              | 天端       |     |  | モルタル刷毛引リシン吹付（セメント系）        |  | 剥離剤併用手工具ケレン工法、高圧洗浄（15MPa）劣化部補修の上全面が珪酸系樹脂モルタル（C-1） |  |  |  | 塗膜防水X-2              |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |
| 外壁           | 既存リシン吹付面 |     |  | モルタル刷毛引リシン吹付（セメント系）（アクリル系） |  | 剥離剤併用手工具ケレン工法、高圧洗浄（15MPa）劣化部補修の上全面が珪酸系樹脂モルタル（C-1） |  |  |  | 外装薄塗材E               |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |
|              | タイル面     |     |  | 磁器質タイル                     |  | 美装                                                |  |  |  |                      |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |
|              | 手摺       |     |  | アルミ 2.0加工                  |  | 美装                                                |  |  |  |                      |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |
|              | 樋        |     |  | VP100φ VP塗                 |  | 下地調整                                              |  |  |  | DP塗                  |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |
|              | 鉄骨ブレース   |     |  | UE塗                        |  | 下地調整                                              |  |  |  | DP塗                  |  |  |    |        |  |        |  |      |  |                             |  |

| 内部仕上表  |           | 床              |                          |          | 巾木            |                                | 壁                              |                         |                  | 天井                    |                       |               | その他                       |                                  | 備考                                               |                                                                      |
|--------|-----------|----------------|--------------------------|----------|---------------|--------------------------------|--------------------------------|-------------------------|------------------|-----------------------|-----------------------|---------------|---------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
|        | 室 名       | 既存床            | 既存床処理                    | 改修床      | 既存巾木          | 改修巾木                           | 下地部位                           | 既存壁                     | 既存壁処理            | 改修壁                   | 既存天井                  | 既存天井処理        | 改修天井                      | 改修前（撤去）                          | 改修後（新設）                                          |                                                                      |
| 1<br>階 | 調理教室      | [VS]<br>タイル    | ---<br>タイル(枠共)撤去<br>下地M塗 | FS(既存同等) | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>OP塗            | 塗装下地処理<br>（入口取合） | EP塗<br>（入口取合）         | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（入口取合）       | 入口（木建）<br>入口取合（壁、天井）             | 入口（鋼製）<br>入口取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火               | 家具化粧板張替                                                              |
|        | [調理教室準備室] | [VS]<br>[タイル]  | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | ---                       |                                  |                                                  |                                                                      |
|        | [物入]      | [M塗]           | ---                      | ---      | [Mｺﾃ]         | ---                            | [RC素地]                         | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [RC素地]                | ---           | ---                       |                                  |                                                  |                                                                      |
|        | [倉庫]      | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]              | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | [社会科準備室]  | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]              | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | [山岳部部室]   | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]              | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | [国語科準備室]  | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]              | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | [生徒会室]    | [FB]<br>[VT]   | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]              | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | [暗室]      | [M塗]           | ---                      | ---      | [Mｺﾃ]         | ---                            | [RC素地]                         | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [RC素地]                | ---           | ---                       |                                  |                                                  |                                                                      |
|        | [生物教室準備室] | [VT]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>[OP塗]          | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | ---                       |                                  |                                                  | 木製ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ扉調整（戸車交換）                                                  |
| 生物教室   | FB        | FB撤去<br>下地M塗調整 | FS(耐薬品性)                 | W OP塗    | 新設 W<br>EP-G塗 | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | EP塗<br>OP塗                     | 塗装下地処理                  | EP-G塗替           | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---                   | ---           | 教卓 1 台、実験台12台<br>入口（木建）   | 教卓1台、実験台9台、作業台3台<br>入口（鋼製建具）     | 窓下収納棚扉ﾚｰﾙ交換・教壇改修・家具巾木見付塗替<br>壁：木部（掲示板枠・木建・額縁等）塗替 |                                                                      |
| 2<br>階 | 被服教室      | [VS]<br>タイル    | ---<br>タイル(枠共)撤去         | FS       | [W]OP塗        | EP-G塗替                         | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>タイル            | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | 浮き部分補修<br>--- | ---                       | 入口（木建）<br>洗面器、タイル、棚、鏡止金具         | 入口（鋼製建具）                                         | 水栓撤去補修（設備工事）・教卓巾木補修                                                  |
|        | 被服教室準備室   | [VS]<br>[タイル]  | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>[OP塗]<br>[タイル] | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]              | ---           | ---                       |                                  |                                                  |                                                                      |
|        | 社会科教室     | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>[OP塗]          | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | 223教室     | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>[OP塗]          | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | 数学準備室     | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>[OP塗]          | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | 地学教室      | [FB]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]              | [EP塗]                   | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | GB-NC9. 5<br>（ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（木製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井） | ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ（鋼製）<br>ﾊﾞｰﾅｰｼｮﾝ取合（壁、天井）<br>天井内 1 時間耐火   |                                                                      |
|        | 化学教室準備室   | [VT]           | ---                      | ---      | [W] [OP塗]     | ---                            | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | [EP塗]<br>[OP塗]          | ---              | ---                   | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | ---                       |                                  |                                                  |                                                                      |
|        | 化学教室      | FB             | FB撤去<br>下地M塗調整           | FS(耐薬品性) | [W]OP塗        | 新設 W<br>EP-G塗                  | [M塗] [ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | EP塗<br>OP塗              | 塗装下地処理           | EP-G塗替                | [吸音ﾍｯｸｽ]<br>[ﾌﾟﾗｽﾀｰ塗] | ---           | ---                       | 教卓 1 台・実験台6台<br>入口（木建）           | 教卓1台・実験台5台・作業台2台<br>入口（鋼製建具）                     | 窓下収納棚扉ﾚｰﾙ交換・教壇改修・家具巾木見付塗替<br>壁：木部（掲示板枠・木建・額縁等）塗替<br>換気扇撤去新設7か所（設備工事） |

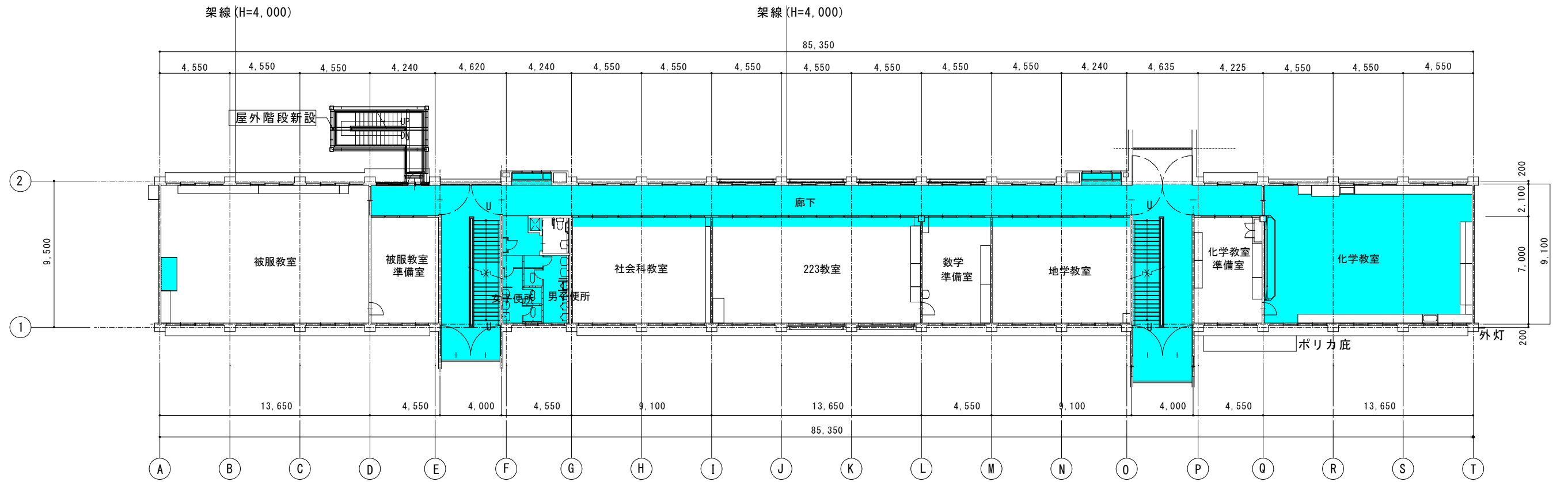
凡例：：工事範囲対象外

※既設仕上において[ ]表記のあるものは存置を示し、[ ]表記のないものは撤去とする。

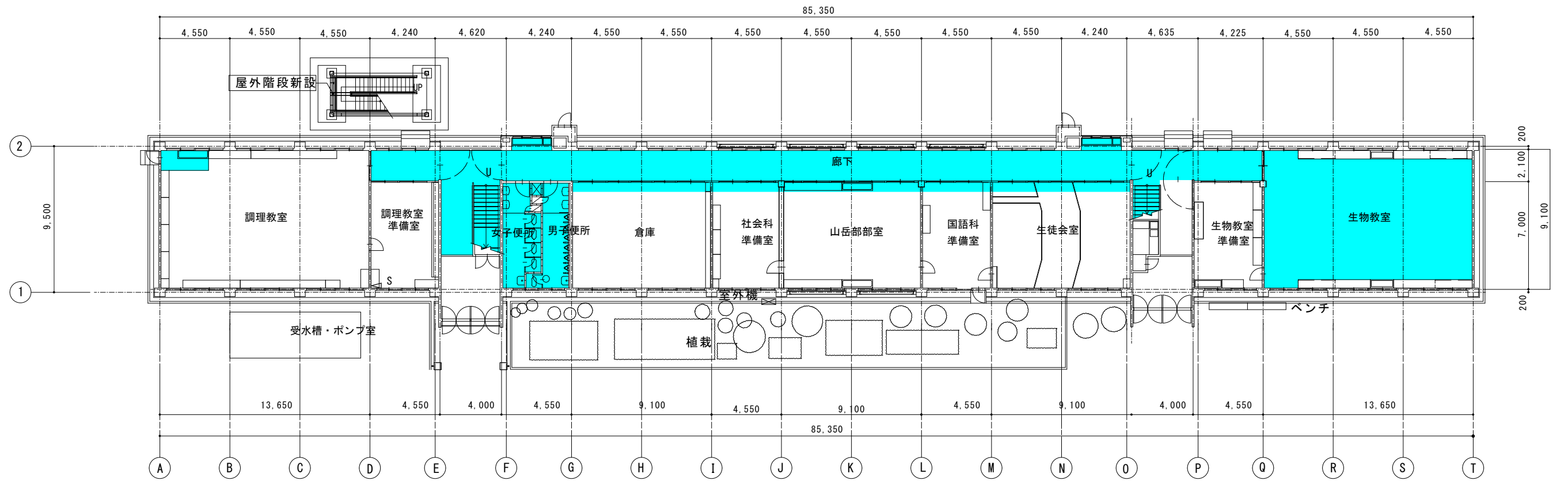
|  |  |             |  |  |  |                                        |  |            |  |                        |  |                                                                                                                |  |
|--|--|-------------|--|--|--|----------------------------------------|--|------------|--|------------------------|--|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|
|  |  | 徳島県県土整備部宮構課 |  |  |  | ●工事名 R 2 営繕 池田高等学校<br>三・池田 特別教室棟改修工事建築 |  | ●図面番号 A-03 |  | ●縮尺 A2=1/100<br>A3=71% |  | 株式会社<br>MIYABE 宮 建築設計<br>管理建築士 1級90947号 宮本 博<br>1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号<br>徳島市福島一丁目5番6号 TEL (088) 625-5505 (代) |  |
|  |  |             |  |  |  | 仕上表 (1)                                |  |            |  |                        |  |                                                                                                                |  |



| 内部仕上り表                                       |              | 床                     |                                          |            | 巾木            |                               | 壁                                      |                                      |                           | 天井                           |                                                   |                                    | その他                                                  |                                  | 備考                                                                                                           |                                                                                        |  |  |
|----------------------------------------------|--------------|-----------------------|------------------------------------------|------------|---------------|-------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|---------------------------|------------------------------|---------------------------------------------------|------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--|--|
|                                              | 室名           | 既存床                   | 既存床処理                                    | 改修床        | 既存巾木          | 改修巾木                          | 下地部位                                   | 既存壁                                  | 既存壁処理                     | 改修壁                          | 既存天井                                              | 既存天井処理                             | 改修天井                                                 | 改修前                              | 改修後                                                                                                          |                                                                                        |  |  |
| 3階                                           | 美術室          | [人研]                  | 下地調整<br>(モルタル塗)<br>一部撤去                  | VS(木目)     | [W]OP塗        | EP-G塗替                        | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0]          | EP塗<br>OP塗                           | 塗装下地処理                    | EP-G塗替                       | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(入口取合)                                   | 入口(木建)<br>入口取合(壁、天井)<br>黒板       | 入口(鋼製建具窓付き)<br>入口取合(壁、天井)天井内1時間耐火<br>ホワイトボード                                                                 | ｽﾃﾝﾚｽ流し美装・家具巾木見付塗替<br>壁:木部(木建・額縁等)塗替<br>水栓をｼﾝｸﾞﾙﾊﾞｰﾆｰに改修(設備工事)                         |  |  |
|                                              | 美術室準備室       | [VS]<br>[ﾀｲﾙ]         | ---                                      | ---        | [W]OP塗        | ---                           | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0]<br>[ﾀｲﾙ] | ---                                  | ---                       | ---                          | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | ---                                                  |                                  |                                                                                                              |                                                                                        |  |  |
|                                              | 2-5教室        | FB                    | FB撤去<br>下地M塗調整                           | FS(木目調)    | W OP塗         | 新設 W<br>EP-G塗                 | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替<br>外壁側腰板杉板張り<br>OSCL塗 | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 | 壁:木部(黒板・掲示板枠・木建・額縁・家具等)塗替<br>教壇改修                                                      |  |  |
|                                              | 2-4教室        | FB                    | FB撤去<br>下地M塗調整                           | FS(木目調)    | W OP塗         | 新設 W<br>EP-G塗                 | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替<br>外壁側腰板杉板張り<br>OSCL塗 | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 | 壁:木部(黒板・掲示板枠・木建・額縁・家具等)塗替<br>教壇改修                                                      |  |  |
|                                              | 234教室        | [FB]                  | ---                                      | ---        | [W][OP塗]      | ---                           | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | ---                                  | ---                       | ---                          | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 |                                                                                        |  |  |
|                                              | 英語教室         | [FB]                  | ---                                      | ---        | [W][OP塗]      | ---                           | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | ---                                  | ---                       | ---                          | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 |                                                                                        |  |  |
|                                              | 物理教室準備室      | [VT]                  | ---                                      | ---        | [W][OP塗]      | ---                           | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0]          | ---                                  | ---                       | ---                          | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | ---                                                  |                                  |                                                                                                              | 木製ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ扉・窓調整                                                                        |  |  |
| 物理教室                                         | FB           | FB撤去<br>下地M塗調整        | FS                                       | W OP塗      | 新設 W<br>EP-G塗 | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0] | EP塗                                    | 塗装下地処理                               | EP-G塗替                    | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]        | ---                                               | ---                                | 入口(木建)<br>教卓1台、実験台10台                                | 入口(鋼製建具窓付き)<br>教卓1台、実験台10台       | 壁:木部(黒板・掲示板枠・木建・額縁等)塗替<br>教壇改修・家具巾木見付塗替                                                                      |                                                                                        |  |  |
| 4階                                           | 音楽室          | TC<br>W框              | 撤去<br>塗装下地処理                             | TC<br>SOP塗 | [W]OP塗        | EP-G塗替                        | [有孔ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0]                         | OP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替                       | ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ                                           | ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ撤去<br>下地処理                  | ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ                                              |                                  |                                                                                                              | 窓下端が低い部分アルミサッシ改修<br>エアコン改修(設備工事)                                                       |  |  |
|                                              | 音楽室準備室       | [カーペット]<br>[ﾀｲﾙ]      | ---                                      | ---        | [W]OP塗        | ---                           | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0]<br>[ﾀｲﾙ] | ---                                  | ---                       | ---                          | [吸音ﾃｯｸｽ]                                          | ---                                | ---                                                  |                                  |                                                                                                              | 物入れ家具扉交換                                                                               |  |  |
|                                              | 放送演劇部室       | [FB]                  | ---                                      | ---        | [W]OP塗        | ---                           | [M塗]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                      | ---                                  | ---                       | ---                          | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 |                                                                                        |  |  |
|                                              | 2-3教室        | FB                    | FB撤去<br>下地M塗調整                           | FS(木目調)    | W OP塗         | 新設 W<br>EP-G塗                 | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替<br>外壁側腰板杉板張り<br>OSCL塗 | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 | 壁:木部(黒板・掲示板枠・木建・額縁・家具等)塗替<br>教壇改修                                                      |  |  |
|                                              | 2-2教室        | FB                    | FB撤去<br>下地M塗調整                           | FS(木目調)    | W OP塗         | 新設 W<br>EP-G塗                 | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替<br>外壁側腰板杉板張り<br>OSCL塗 | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 | 壁:木部(黒板・掲示板枠・木建・額縁・家具等)塗替<br>教壇改修                                                      |  |  |
|                                              | 2-1教室        | FB                    | FB撤去<br>下地M塗調整                           | FS(木目調)    | W OP塗         | 新設 W<br>EP-G塗                 | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替<br>外壁側腰板杉板張り<br>OSCL塗 | [吸音ﾃｯｸｽ]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                             | ---                                | GB-NC9.5<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                             | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(木製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井) | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ(鋼製)<br>ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(壁、天井)<br>天井内1時間耐火                                                                 | 壁:木部(黒板・掲示板枠・木建・額縁・家具等)塗替<br>教壇改修                                                      |  |  |
|                                              | 視聴覚教室<br>準備室 | [VT]                  | ---                                      | ---        | [W][OP塗]      |                               | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]<br>[ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0]          | ---                                  | ---                       | ---                          | [吸音ﾃｯｸｽ]                                          | ---                                | ---                                                  |                                  |                                                                                                              | 木製ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ扉ﾄﾞｱﾁｬｯｸ取り付け                                                                 |  |  |
|                                              | 視聴覚教室        | TC                    | TC撤去                                     | TC         | [W]OP塗        | EP-G塗替                        | [有孔ｼﾅﾊﾞｰﾆﾔ6.0]<br>[木格子]<br>[ﾌﾟﾘﾝﾄ合板]   | ---                                  | ---                       | ---                          | 4mmﾌﾞﾗﾝｸﾞﾋﾞﾆﾙ石吹付<br>GB-R厚9.5 ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗] | 撤去(下地共)<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ撤去下地処理<br>塗装下地処理 | GB-R9.5+ﾓｯｸｱﾙ吸音板<br>(下地、ｼﾝｼｰﾄ共)<br>ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ<br>EP-G塗替 | 入口(木建)                           | 入口(鋼製建具遮音ﾀｲﾌﾟT2)                                                                                             |                                                                                        |  |  |
|                                              | 天体観測準備室      | ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ               | 撤去下地処理                                   | FS         | [W]OP塗        | EP-G塗替                        | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替                       | [吸音ﾃｯｸｽ]                                          | ---                                | ---                                                  |                                  |                                                                                                              | 入口建具調整<br>額縁塗替                                                                         |  |  |
| 天体観測室                                        | 不織布(緑)       | ---                   | ---                                      | [Mｺﾃ]      | ---           | [RC素地]                        | ---                                    | ---                                  | ---                       | [ドーム]                        | ---                                               | ---                                |                                                      |                                  |                                                                                                              |                                                                                        |  |  |
| 各階共通                                         | 便所           | ﾀｲﾙ<br>人研             | 撤去M嵩上げ<br>撤去M下地                          | FS(抗菌)     | ﾀｲﾙ           | ﾌﾙﾐ製見切<br>床材立上                | [RC]M塗<br>GB+M塗                        | EP塗<br>ﾀｲﾙ                           | GB-S厚12.5<br>撤去+GB-S厚12.5 | KFK6                         | FK6の上EP塗                                          | 撤去                                 | FK6の上EP-G塗                                           | トイレブース<br>入口(木建)                 | トイレブース<br>入口(鋼製建具)                                                                                           | 小便器、大便器、洗面台、鏡、換気扇撤去新設(設備工事)                                                            |  |  |
|                                              | 廊下           | [VT]<br>ﾀｲﾙ           | 下地処理<br>一部撤去<br>樹脂モルタル塗<br>ﾀｲﾙ(併共)撤去下地調整 | FS         | W OP塗<br>EP塗  | 新設 W<br>EP-G塗                 | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理                    | EP-G塗替<br>外壁側腰板杉板張り<br>OSCL塗 | [GB-R9mm底目貼]<br>[ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                         | ---                                | GB-R9.5底目地<br>EP-G塗<br>(ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合)                  | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(床、壁、天井)               | ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ取合(床、壁、天井)                                                                                           | 手洗流し(蛇口4→3・ｽﾃﾝﾚｽ張り)、階段/ｽﾘｯﾌﾟ撤去新設<br>西側3階渡り廊下AD建具改修(ｶｰﾎﾞ工法)<br>壁:木部(木ﾊﾞｰﾃﾞｨｮﾝ・木建・額縁等)塗替 |  |  |
|                                              | 階段室          | [VT]                  | 下地処理                                     | FS         | [W]OP塗<br>EP塗 | EP-G塗替                        | [M塗][ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗]                          | EP塗                                  | 塗装下地処理<br>欠損部浮部撤去M塗       | EP-G塗替                       | GB-R9mm底目貼<br>ﾌﾞﾗｽﾀｰ塗                             | 一部撤去新設<br>欠損部浮部撤去M塗                | EP-G塗替                                               | 防火扉(熱ヒューズﾀｲﾌﾟ)                   | 防火扉(煙感連動ﾀｲﾌﾟ)                                                                                                | 東棟R階ADｼﾘﾝﾀﾞｰ錠交換<br>西棟R階AD美装調整                                                          |  |  |
| 凡例                                           | ――▽――▽――▽――  | :基準線                  |                                          | RC         | :鉄筋コンクリート     |                               | VS                                     | :ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り t=2.0:(溶接工法)             |                           | GB-R9.5                      | :せっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5                                   |                                    | 準不燃 QM-9828                                          | SOP                              | :合成樹脂調合ﾍﾞｲﾝﾄ塗り                                                                                               |                                                                                        |  |  |
|                                              | ――▽――▽――▽――  | :設計地盤面                |                                          | S          | :鉄骨           |                               | FS                                     | :複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張り t=2.0:(溶接工法)           |                           | GB-R12.5                     | :せっこうﾎｰﾄﾞ t=12.5                                  |                                    | 不燃 NM-8619                                           | EP                               | :合成樹脂エマルｼｮﾝﾍﾞｲﾝﾄ塗り                                                                                           |                                                                                        |  |  |
|                                              | =====        | :RC造 壁 (1/10～1/50)    |                                          | CB         | :コンクリートﾌﾞﾛｯｸ  |                               | VT                                     | :ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ張り t=2.0                    |                           | GB-NC9.5                     | :化粧せっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5                                 |                                    | 不燃 QM-9824                                           | AEP                              | :ｱｸﾘﾙエマルｼｮﾝﾍﾞｲﾝﾄ塗り                                                                                           |                                                                                        |  |  |
|                                              | =====        | :RC造 壁 (1/200, 1/100) |                                          | W          | :木            |                               | TC                                     | :ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ張り t=6.5                   |                           | B12                          | :ｺﾝﾊﾟﾆ t=12                                       |                                    | 不燃 NM-9639                                           | OP                               | :調合ﾍﾞｲﾝﾄ塗り                                                                                                   |                                                                                        |  |  |
|                                              | =====        | :軽量鉄骨壁下地              |                                          | M          | :モルタル         |                               | 塗床                                     | :ﾎﾟﾘｴｰｽ樹脂系塗床材塗り                      |                           | GB-S9.5、GB-S12.5             | :ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5、12.5                       |                                    | 不燃 NM-9639                                           | DP                               | :耐候性塗料塗り                                                                                                     |                                                                                        |  |  |
| 凡例                                           | ☒            | :天井点検口(450x450)       |                                          | FB         | :ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾌﾞﾛｯｸ |                               | GB-P                                   | :吸音用あなあきせっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5、12.5          |                           | GB-P                         | :吸音用あなあきせっこうﾎｰﾄﾞ t=9.5、12.5                       |                                    | 不燃 NM-8578                                           | CL                               | :ｸﾘｱﾌﾗｯｸ塗り                                                                                                   |                                                                                        |  |  |
|                                              | ⌀ RDサイズ'φ    | :ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ (ﾀｲﾌﾟ・径)    |                                          | 防水M        | :防水モルタル       |                               | VB                                     | :軟質ﾋﾞﾆﾙ巾木 (下地は壁下地に同じ)                |                           | FK6                          | :無石綿けい酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6.0                               |                                    | 不燃 NM-8578                                           | EP-G                             | :ﾌﾗｲﾊﾞｲﾝﾄ合成樹脂エマルｼｮﾝﾍﾞｲﾝﾄ塗り                                                                                   |                                                                                        |  |  |
|                                              | ⌘ HDサイズ'φ    | :ﾙｰﾌﾄﾞﾚｲﾝ (ｺｺ型・径)     |                                          | LGS        | :軽量鉄骨         |                               | WB                                     | :木製巾木 (下地は壁下地に同じ)                    |                           | KFK6                         | :化粧けい酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=6.0                                |                                    | 不燃 NM-4227                                           |                                  |                                                                                                              |                                                                                        |  |  |
|                                              | ⊕            | :立てどい                 |                                          | SUS        | :ステンレス        |                               |                                        |                                      |                           | GW                           | :ｸﾞﾗｽｳｰﾙ 24kg/m3 t50                              |                                    | 不燃 NM-3190                                           |                                  |                                                                                                              |                                                                                        |  |  |
|                                              |              |                       |                                          |            |               |                               |                                        |                                      |                           |                              |                                                   |                                    |                                                      |                                  |                                                                                                              |                                                                                        |  |  |
| ※既設仕上りにおいて[ ]表記のあるものは存置を示し、[ ]表記のないものは撤去とする。 |              |                       |                                          |            |               |                               |                                        |                                      |                           |                              |                                                   |                                    |                                                      |                                  |                                                                                                              |                                                                                        |  |  |
|                                              |              |                       |                                          |            | 徳島県土木整備部宮繕課   |                               |                                        | ●工事名 R2宮繕 池田高等学校<br>三・池田 特別教室棟改修工事建築 |                           |                              |                                                   |                                    | ●図面番号 A-04                                           |                                  | 株式会社<br>MIYA<br>宮 建築設計<br>管理建築士 1級00947号 宮本 博<br>1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号<br>徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代) |                                                                                        |  |  |
|                                              |              |                       |                                          |            |               |                               |                                        | 仕上表(2)                               |                           |                              |                                                   |                                    | ●縮尺 A2=1/100<br>A3=71%                               |                                  |                                                                                                              |                                                                                        |  |  |



2 階平面図 1/200



1 階平面図 1/200

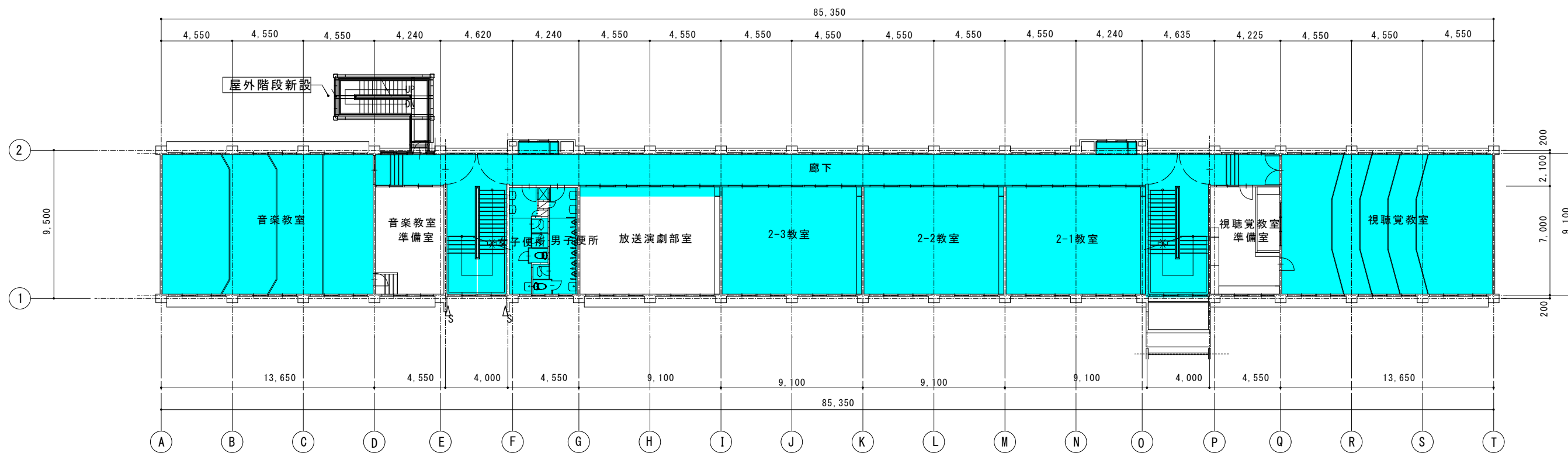
工事範囲を示す

徳島県県土整備部営繕課

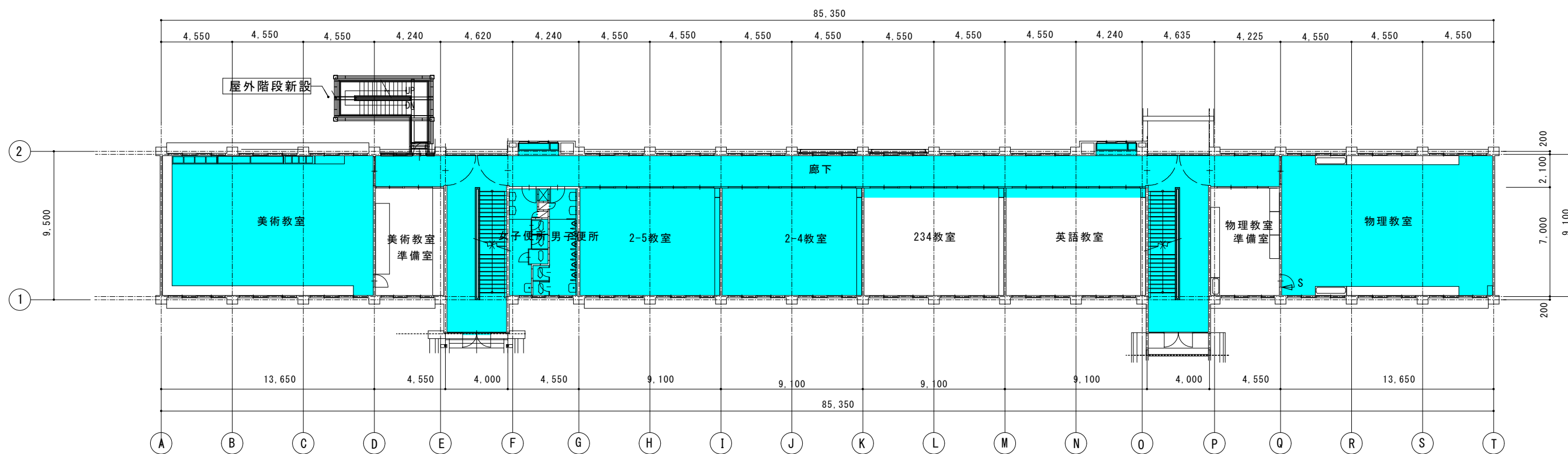
●工事名 R2 営繕 池田高等学校  
三・池田 特別教室棟改修工事建築  
●図面名 1 階、2 階平面図  
(支障物件確認図)

●図面番号 A-05  
●縮尺 A2=1/200  
A3=71%

株式会社 宮 建築設計  
MIYA 株式会社  
管理建築士 1級00947号 宮本 博  
1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号  
徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)



4 階平面図 1/200



3 階平面図 1/200

工事範囲を示す

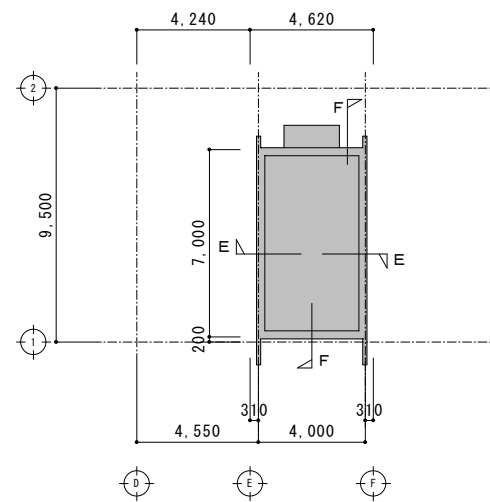
徳島県県土整備部営繕課

●工事名 R 2 営繕 池田高等学校  
三・池田 特別教室棟改修工事建築  
●図面名 3 階、4 階平面図

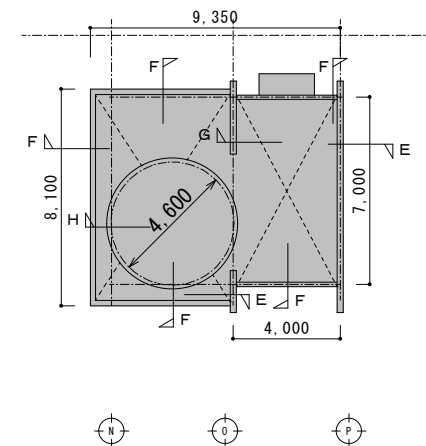
●図面番号 A-06  
●縮尺 A2=1/200  
A3=71%

株式会社 宮建築設計  
MIYA 会社  
管理建築士 1級00947号 宮本 博  
1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号  
徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)

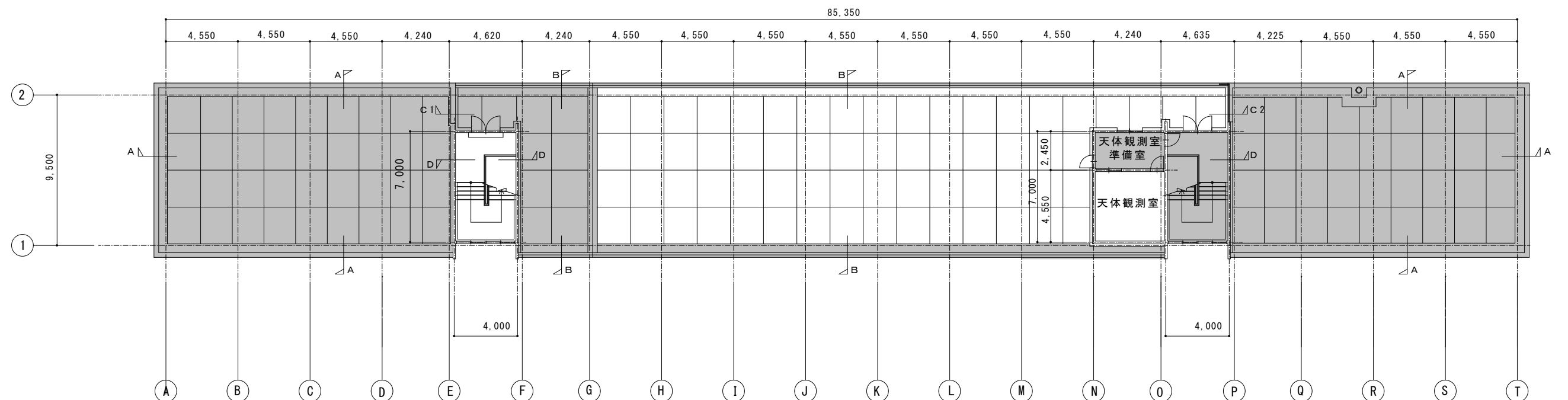




PHR階平面図



PHR階平面図



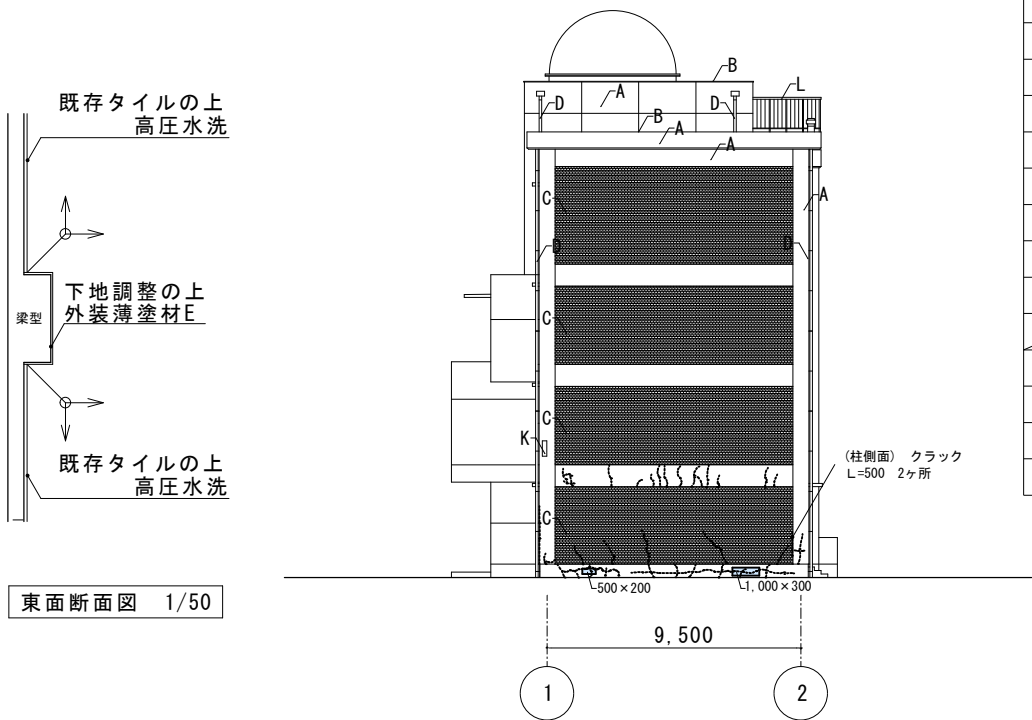
R階、PH階平面図 1/200

徳島県土木整備部宮緒課

●工事名 R 2 宮緒 池田高等学校  
三・池田 特別教室棟改修工事建築  
●図面名 R 階、PH 階、PHR 階平面図

●図面番号 A-07  
●縮尺 A2=1/200  
A3=71%

株式会社 宮 建築設計  
MIYA 会社  
管理建築士 1級00947号 宮本 博  
1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号  
徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代)



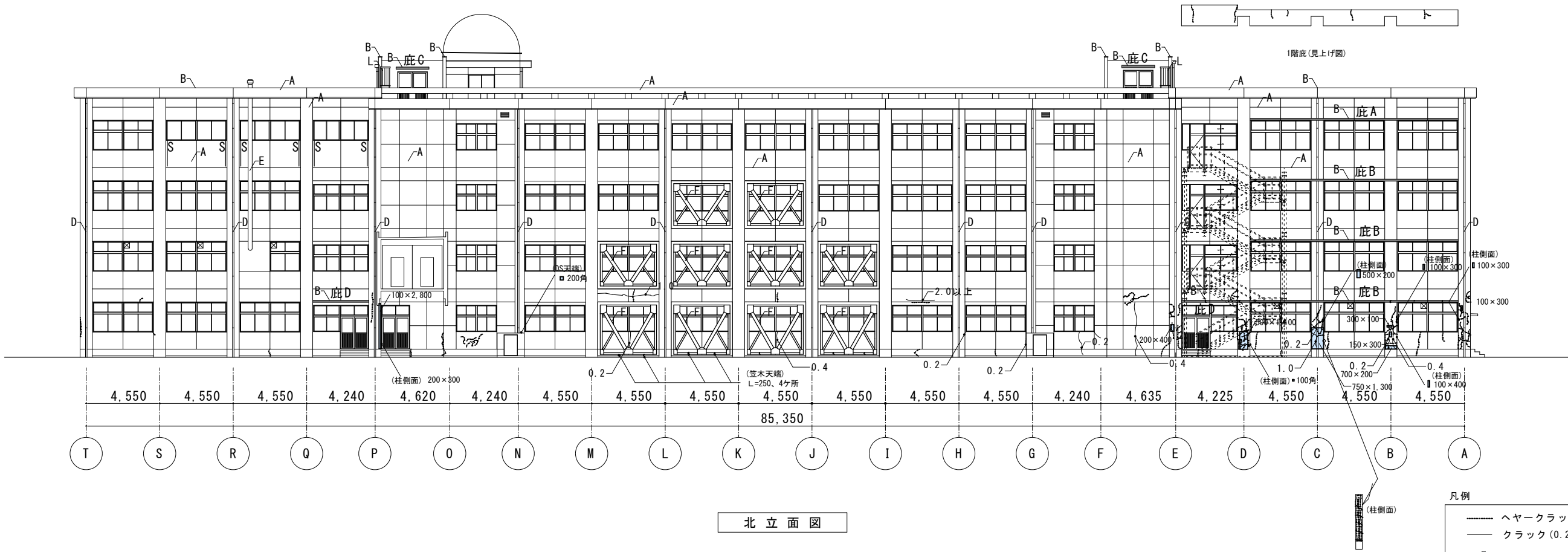
東面断面図 1/50

東立面図

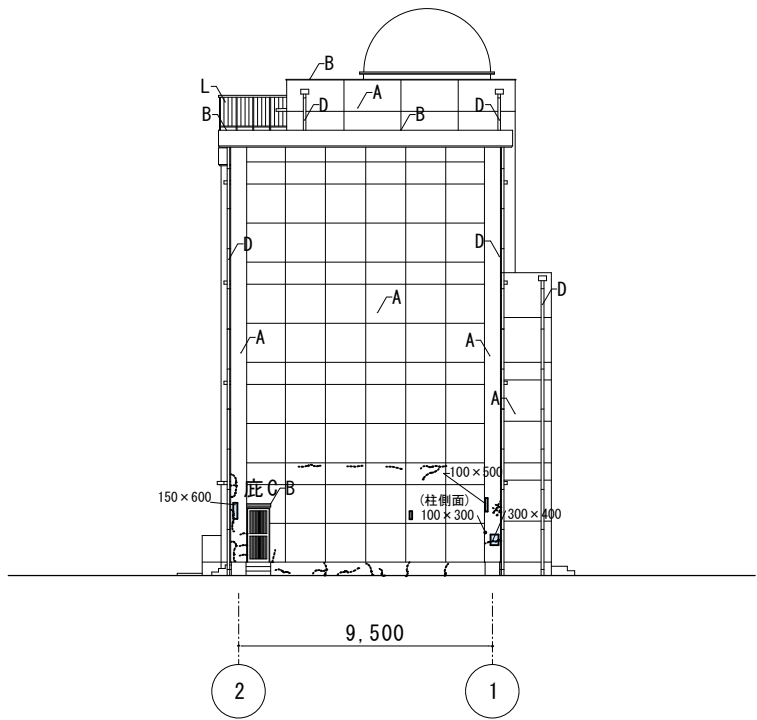
| 凡例番号                                                   | 既設面                                       | 改修概要                                                                 |
|--------------------------------------------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|
| A                                                      | 外壁・バ・ラ・ット・バ・ラ・ット天手摺・柱型・梁型・底部外面・底部軒裏：リシ吹付面 | 剥離剤併用手工具ケレン工法、高圧洗浄(15MPa)劣化部補修の上全面がワシ系樹脂モルタル(C-1)の上外装薄塗材E(アクリルリシン)吹付 |
| B                                                      | 底上端、底上立上り・笠木天端：リシ吹付面                      | 剥離剤併用手工具ケレン工法、高圧洗浄(15MPa)劣化部補修の上全面がワシ系樹脂モルタル(C-1)の上塗膜防水X-2           |
| C                                                      | 小口タイル面                                    | 高圧洗浄(15MPa)の上劣化部補修、タイル美装                                             |
| D                                                      | 縦樋VP(φ100)VP塗                             | 下地調整の上DP塗1種                                                          |
| E                                                      | VP(φ250)VP塗                               | 下地調整の上DP塗1種                                                          |
| F                                                      | 耐震ブレース：UE塗                                | ケレン、錆止めの上DP塗替                                                        |
| G                                                      | 手摺：7mm 2.0加工                              | 美装                                                                   |
| H                                                      | 渡り廊下上屋                                    | 高圧洗浄(15MPa)下地面補修の上全面がワシ系樹脂モルタル塗(C-1)の上塗膜防水X-2                        |
| I                                                      | 室外機                                       | 養生                                                                   |
| J                                                      | ポリカ底                                      | 養生又は取合部分に損傷を与えないように取外し、作業終了後速やかに取付けること                               |
| K                                                      | 外灯                                        | 養生又は取合部分に損傷を与えないように取外し、作業終了後速やかに取付けること                               |
| L                                                      | スチール手摺                                    | 撤去・撤去跡 防水Mの上塗膜防水                                                     |
| シーリング打ち直し(サッシ周り、外壁打継、換気パイプ周り、換気フード周り、耐震リット、その他金物取合い部等) |                                           |                                                                      |

|    | 壁クラック(m) |         | 壁浮き          |              | 底クラック(m) |
|----|----------|---------|--------------|--------------|----------|
|    | 0.2mm未満  | 0.2mm以上 | 0.25m2未満(か所) | 0.25m2以上(m2) | 0.2mm未満  |
| 北面 | 71.49    | 17.87   | 12           | 1.525        | 5.24     |
| 東面 | 34.29    |         | 2            |              |          |
| 南面 | 49.01    | 13.49   | 2            |              | 85.11    |
| 西面 | 14.44    |         | 4            |              |          |
| 計  | 169.23   | 31.36   | 20           | 1.525        | 90.35    |

|                       |                        |
|-----------------------|------------------------|
| I 欠損(鉄筋露出部)充填工法       | 鉄筋防錆塗、エポキシ樹脂モルタル充填+ケイ砂 |
| II 欠損(浅い欠損30m以下)充填工法  | ポリマーセメントモルタル充填         |
| III モルタル浮き部(0.25m2未満) | アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  |
| IV モルタル浮き部(0.25m2以上)  | アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  |
| V タイル浮き部(0.25m2未満)    | アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法  |
| VI タイル浮き部(0.25m2以上)   | アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法  |
| VII 補修済み              | 充填工法(エポキシ樹脂モルタル+ケイ砂)   |
| VIII ひび割れ部 モルタル面      | 0.2~1.0mm以下 樹脂注入工法     |
|                       | 1.0mmこえる Uカットシール材充填工法  |
| IX ひび割れ部 タイル面         | 0.2~1.0mm以下 樹脂注入工法     |



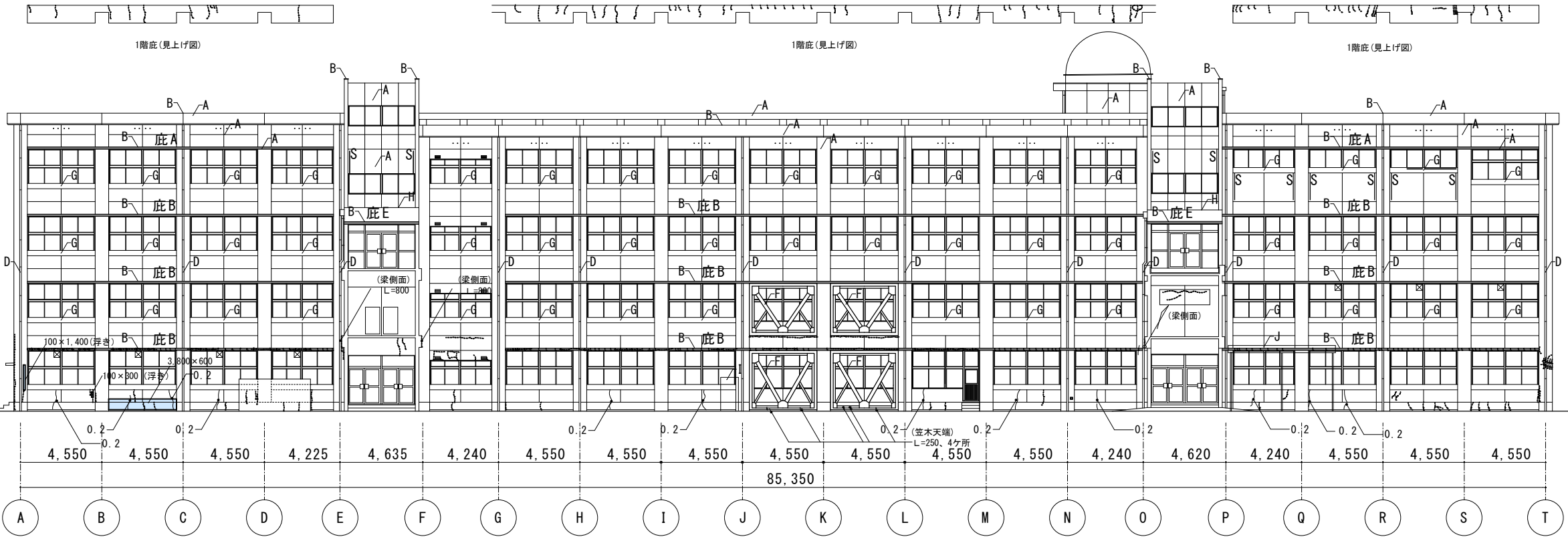
北立面図



西 立面図

| 凡例番号                                                                | 既設面                                       | 改修概要                                                                  |
|---------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| A                                                                   | 外壁・バ`ラ`ット・バ`ラ`ット天手摺・柱型・梁型・底部外面・底部軒裏：リシ吹付面 | 剥離剤併用手工具ケレン工法、高圧洗浄（15MPa）劣化部補修の上全面がワシ系樹脂モルタル（C-1）の上外装薄塗材 E（アクリルリシン）吹付 |
| B                                                                   | 庇上端、庇上立上り・笠木天端：リシ吹付面                      | 剥離剤併用手工具ケレン工法、高圧洗浄（15MPa）劣化部補修の上全面がワシ系樹脂モルタル（C-1）の上塗膜防水 X-2           |
| C                                                                   | 小口タイル面                                    | 高圧洗浄（15MPa）の上タイルクラック・浮き補修、タイル美装                                       |
| D                                                                   | 縦樋VP（φ100）VP塗                             | 下地調整の上 D P 塗1種                                                        |
| E                                                                   | VP（φ250）VP塗                               | 下地調整の上 D P 塗1種                                                        |
| F                                                                   | 耐震ブレース：U E 塗                              | ケレン、錆止めの上 D P 塗替                                                      |
| G                                                                   | 手摺：7㍓ 2.0加工                               | 美装                                                                    |
| H                                                                   | 渡り廊下上屋                                    | 高圧洗浄（15MPa）下地面補修の上全面がワシ系樹脂モルタル塗（C-1）の上塗膜防水 X-2                        |
| I                                                                   | 室外機                                       | 養生                                                                    |
| J                                                                   | ポリカ庇                                      | 養生又は取合部分に損傷を与えないように取外し、作業終了後速やかに取付けること                                |
| K                                                                   | 外灯                                        | 養生又は取合部分に損傷を与えないように取外し、作業終了後速やかに取付けること                                |
| L                                                                   | スチール手摺                                    | 撤去・撤去跡 防水Mの上塗膜防水                                                      |
| シーリング打ち直し（サッシ周り、外壁打継、換気パイ`周り、換気フード`周り、耐震スリット（S 目地幅40mm）、その他金物取合い部等） |                                           |                                                                       |

|                      |                          |
|----------------------|--------------------------|
| I 欠損（鉄筋露出部）充填工法      | 鉄筋防錆塗、エポキシ樹脂モルタル充填＋ケイ砂   |
| II 欠損（浅い欠損30m以下）充填工法 | ポリマーセメントモルタル充填           |
| III モルタル浮き部（0.25㎡未満） | アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法    |
| IV モルタル浮き部（0.25㎡以上）  | アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法    |
| V タイル浮き部（0.25㎡未満）    | アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法    |
| VI タイル浮き部（0.25㎡以上）   | アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法    |
| VII 補修済部             | 充填工法（エ`キ樹脂モルタル＋ケイ砂）      |
| VIII ひび割れ部 モルタル面     | 0.2～1.0mm以下<br>樹脂注入工法    |
|                      | 1.0mmこえる<br>Uカットシール材充填工法 |
| IX ひび割れ部 タイル面        | 0.2～1.0mm以下<br>樹脂注入工法    |



南 立面図

|                        |
|------------------------|
| 凡例                     |
| ----- ヘヤークラック（0.2mm未満） |
| —— クラック（0.2mm以上）       |
| □ モルタル浮き               |

|  |             |  |                                        |                                        |                                                                                                             |
|--|-------------|--|----------------------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|  | 徳島県県土整備部営繕課 |  | ●工事名 R 2 営繕 池田高等学校<br>三・池田 特別教室棟改修工事建築 | ●図面番号 A-09<br>●縮尺 A2=1/200<br>A3=1/400 | 株式会社 宮 建築設計<br>MIYAYA<br>管理建築士 1級00947号 宮本 博<br>1級建築士事務所 徳島県知事登録第61057号<br>徳島市福島一丁目5番6号 TEL(088)625-5505(代) |
|  |             |  | ●図面名 南、西立面図                            |                                        |                                                                                                             |

